

令和 7 年度 市営住宅 5 号棟屋上及び外壁改修工事

胎内市 地域整備課 都市計画建築係

発注図

図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺
A-01	建築改修工事特記仕様書(その1)	—	A-16	各部詳細図	1/1・1/5・1/10
A-02	建築改修工事特記仕様書(その2)	—	A-17	1階・2階金属製建具キープラン	1/100
A-03	建築改修工事特記仕様書(その3)	—	A-18	3階金属製建具キープラン	1/100
A-04	建築改修工事特記仕様書(その4)	—	A-19	改修金属製建具表	1/50
A-05	建築改修工事特記仕様書(その5)	—			
A-06	建築改修工事特記仕様書(その6)・求積図・求積表・面積表	1/200			
A-07	工事概要・付近見取図・配置図・仮設計画図	1/300・1/5000			
A-08	外部仕上表	—			
A-09	1階・2階平面図	1/100			
A-10	3階平面図・屋根伏図	1/100			
A-11	1階・2階天井伏図	1/100			
A-12	3階天井伏図	1/100			
A-13	北側・東側立面図	1/100			
A-14	南側・西側立面図	1/100			
A-15	矩計図	1/30			

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 8 鋼製軽量建具, 9 ステンレス製建具, 10 木製建具, 11 建具用金具, 12 自動ドア開閉装置, 13 自閉式上吊り引戸装置, 14 重量シャッター, 15 軽量シャッター, 16 引戸ヘッドドア, 17 ガラス. Each item has detailed technical specifications and material requirements.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 18 ガラス留め材, 19 ガラスのロック組み, 20 ガラス用フィルム, 6 1 基本要品品質, 2 改修範囲, 3 施工数量調査, 4 既存床の撤去及び下地補修, 5 既存壁の撤去及び下地補修. Each item includes specific material and performance requirements.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 6 6 製材, 7 集成材, 8 合板等, 9 防蟻・防蟻処理, 10 軽量鉄骨天井下地, 11 ビニル床シート, 12 ビニル床タイル. Each item includes detailed specifications for materials and construction methods.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 13 帯電防止床張り, 14 誘導用、注意喚起用床材, 15 ビニル床材, 16 カーペット敷き, 17 合成樹脂塗床, 18 フローリング張り, 19 畳敷き, 20 セッコウボード. Each item includes specifications for flooring and surface treatments.

Table with 4 columns: 種類 (Type), 記号 (Code), 厚さ (mm) (Thickness), 備考 (Remarks). Rows include 21 吸音材 (Acoustic material), 22 壁紙張り (Wallpapering), 23 珪藻土塗り (Diatomaceous earth coating), 24 タイル (Tiles), 25 フライアクリル (Fly acrylic), 26 可動間仕切 (Movable partition), 27 移動間仕切 (Moving partition), 28 トイレブース (Toilet booth).

Table with 4 columns: 種類 (Type), 区分 (Division), 種類 (Type), 寸法 (mm) (Dimensions), 備考 (Remarks). Rows include 29 階段止め (Stair stop), 30 階段手すり (Stair handrail), 31 黒板及びホワイトボード (Blackboard and whiteboard), 32 室名札 (Room name tag), 33 ブラインド (Blind), 34 ブランドボックス及びシューズボックス (Brand box and shoe box), 35 ロールスクリーン (Roller blind), 36 カーテン及びカーテンレール (Curtain and curtain rail), 37 天井点検口 (Ceiling access), 38 床下点検口 (Underfloor access), 39 くつふきマット (Slip mat), 40 人研ぎ装置等 (Floor care equipment), 41 屋内掲示板 (Indoor notice board).

Table with 4 columns: 種類 (Type), 寸法 (mm) (Dimensions), 突出面 (Protrusion), 面付型 (Surface type), 文字形式 (Text form), 受金具 (Receiver). Rows include 42 しっくい塗り (Plaster), ① 塗装業者 (Painter), ② 材料 (Material), ③ 下地調整・素地ごしらえ (Undercoat adjustment), ④ 錆止め塗料塗り (Rust prevention coating), ⑤ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) (Synthetic resin composite paint), 6 グラフィック塗り (GL) (Graphic coating), 7 グラフィック系非水分散系塗料 (NAD) (Graphic system water-based dispersion paint), ⑧ 耐水性塗料塗り (DP) (Waterproofing paint), ⑨ つや有合成樹脂エポキシペイント塗り (EP-G) (Gloss synthetic resin epoxy paint), ⑩ 合成樹脂エポキシペイント塗り (EP) (Synthetic resin epoxy paint), 11 グラフィック系非水分散系塗料 (NAD) (Graphic system water-based dispersion paint).

Table with 4 columns: 種類 (Type), 適用箇所 (Application area), 塗料 (Paint). Rows include 12 ステンカラー (Stainless steel), 13 木材保護塗料塗り (WP) (Wood protection paint), ① コンクリートの種類及び強度、品質 (Concrete type and strength/quality), ② 鉄筋の種類 (Reinforcement type), ③ あと施工フック (After construction hook), ④ セメントの種類 (Cement type), 5 骨材の品質 (Aggregate quality), 6 混和材料の種類 (Mixed material type), 7 鉄筋の継手 (Reinforcement joint), 8 鉄筋の最小かぶり厚さ (Minimum reinforcement cover), 9 鉄骨の工作 (Steel structure work).

B-2 耐震改修工事	1 コンクリートの類別及び強度、品質	レディーミクストコンクリートの類別 ※Ⅰ類・Ⅱ類 [8.1.3][表8.1.1]	14 連続繊維シート巻き	材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度(含浸硬化後) ・2500N/mm ² 以上 ・3000N/mm ² 以上 ヤング係数(含浸硬化後) ・2.35×10 ⁴ N/mm ² 程度 ・2.00×10 ⁴ N/mm ² 以上 工法 ※(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 ・ 下地調整 仕上げ材の除去 ※行う・行わない 柱及び梁の隅角部の面取り ※工法の評価内容による	27 耐火被覆	[8.18.2]	⑨ 環境配慮改修工事	① 石綿含有建材の処理	※建築物の解体工事、アスベスト除去について、以下の基準を適用する。 ・建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針(令和2年9月8日付け 技術上の指針公示第22号) ・建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル 令和3年3月(厚生労働省、環境省) ・新石綿技術指針対応版 石綿粉じんへのばく露防止マニュアル(建設業労働災害防止協会)
	2 鉄骨製作工場	コンクリートの仕上りの平たんさ ・a種 ・b種 ・c種 [8.1.4][表8.1.5] ・監督員の承諾する製作工場 ・建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた 財団法人鉄骨評価センター又は 財団法人鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場	15 鉄筋の継手	継手工法 継手方法 呼び名(mm) 適用箇所 ・ガス圧接 ・重ね継手 ・ 柱の配筋 [8.3.4][各部配筋参考図] 帯筋の組立ての形 ※各部配筋参考図2.2による 種別 ※H形・W-I形 ・図示	28 溶融亜鉛メッキ高力ボルト接合	[8.20.5]	2 石綿含有吹付け材の除去	除去工法 ※改修標準9.1.3による。	
	3 施工管理技術者	※適用する [8.1.6]	16 鉄筋の最小かぶり厚さ	最小かぶり厚さは、目地底から算定する。 [8.3.5][表8.3.6] ・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 施工箇所 改修標準表8.3.6の値に加える寸法(mm) 柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面 ※10	29 既存コンクリート面の目直し	[8.21.3]	3 石綿含有保温材等の除去	除去工法 ※粉じん飛散抑制剤等による湿潤化の後、手ばらしで行う。 ・掻き落し・植砕・切断等による除去を行う。 ※9.1.3 [石綿含有吹付け材の除去]により、作業場を隔離する。	
	4 鉄筋の種類	種類の記号 呼び名(mm) ・SD295 ・D16以下 ・SD345 ・D19以上 ・	17 打増し壁に用いるコンクリート	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのコンクリート種類 ※「6 あと施工コンクリートの材料」による 間隔(mm) ※500×500 図示	30 増設・補強工事のコンクリートの打込み	[8.21.6][8.23.5]	4 石綿含有成形板等の除去	養生等 建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開口部(出入口、換気口、窓等)は閉とし、ガラスの破損箇所等で開いている部位を養生シート等で塞ぐ。 作業場所周辺の養生(養生シート等) 行う・行わない 石綿含有成形板の種類 材料名 使用部位 厚さ(mm) 備考	
	5 溶接金網	網目の形状、寸法及び鉄線の径 網目の形状、寸法(たて×よこ) 鉄線の径または呼び(mm) ※100×100 ※6.0 ・	18 圧接完了後の試験	圧接部の確認試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験	31 柱補強	[8.23.5]	5 石綿含有仕上塗材の除去	除去工法 ※改修標準9.1.6による。	
	6 あと施工コンクリート	あと施工コンクリートの材料 ・金属塩化コンクリート ※接着系コンクリートの種類 ※有機系	19 あと施工コンクリートの施工	穿孔前の埋込み配管等の探査方法 ※電磁波レーダー法 ・電磁誘導法 ・X線法	32 耐震スリットの施工	[8.25.2]	6 除去した石綿等の処分	除去した石綿等の処分 [9.1.3~9.1.6] ※各種廃棄物分類に応じた最終処分場で埋立処分 ・中間処理 ・アスベストの中間処理に適する溶融施設において溶融処理 ・大臣認定を受けた無害化処理施設において無害化処理	
	7 セメントの種類	※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、沈降セメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・普通エコセメント ・高炉セメントB種(適用箇所:) ・フライアッシュセメントB種(適用箇所:) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の地、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。 水和熱 7d 352J/g以下 28d 402J/g以下	20 あと施工コンクリートの施工確認試験	※全数の打音検査 ※引抜き耐力試験 範囲 ※改修標準8.12.7による ・補強壁1枚あたり3本(梁下・柱・床(または梁上)各1本)以上 確認強度 ※あと施工コンクリートの確認強度は構造標準図による	⑩ 環境配慮改修工事	石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及びび質与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査するとともに記録の写しを現場に備え置く。また、発注者への説明、関係法令等に基づき官公署へ報告を行う。 調査範囲 図示 質与資料 図示 分析による石綿含有建材の調査 行う・行わない 分析方法 材料名 定性分析方法 定量分析方法 ・JIS A 1481-1 ・JIS A 1481-3 ・JIS A 1481-2 ・JIS A 1481-4 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 その他、石綿別に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(厚生労働省)による	7 外断熱改修	[9.2.2]	断熱材の種類 (厚さ: mm) [9.2.2] 既存外壁材の撤去 行う・行わない [9.2.3] 下地面の清掃 行う・行わない [9.2.3] 断熱材を設置する部分の下地に欠損部がある場合 [9.2.3] ※4.1.4 [外壁改修工法の種類]による 建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を [9.2.4] 改修標準1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。 不陸等の下地調整 断熱材の施工 断熱材製造所の仕様による 外壁材の施工 外壁材製造所の仕様による 通気層 設ける(厚さ: mm) 設けない 外壁材の外壁への取付け 図示
	8 骨材の品質	7d/28d反応性による区分 ・A ※B(コンクリート中の7d/28d反応性係数Rf≦3.0kg/m ³)	21 鉄骨の工作図	高力ボルト及び普通ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※建築工事監理指針による 図示	石綿粉じん濃度測定 行う・行わない [9.1.1]	測定時期、場所及び測定点 適用測定名称 測定時期 測定場所 測定箇所数(各処理作業室ごと) ・測定1 処理作業前 処理作業室内 ()点 ・測定2 処理作業後 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 ()点 ・測定3 処理作業中 処理作業室内 ()点 ・測定4 処理作業後 排気装置の排出口(処理作業室外の場合) 1m/s以下の位置各1点 ()点 ・測定5 処理作業後 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 ()点 ・測定6 処理作業後 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 ()点 ・測定7 処理作業後 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 ()点 ・測定8 (隔離シート撤去前) 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 ()点	8 ガラス改修	本特記仕様 5 建具改修工事 17 ガラスによる	
	9 混和材料の種類	※混和剤 ・混和剤(※JIS A 6202による膨張材)	22 鉄骨工作仮組	※行う	測定方法 ・自動測定器による測定 測定名称 測定方法 ・測定4 粉じん相対濃度(浮遊粉じん)計、n-ニトリル、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・JIS K 3850-11に基づいた測定 測定名称 測定方法 測定 直径(mm) 試料の吸引流量(L/min) 試料の吸引時間(min) ・測定4 測定5 25 5 30 ・測定 47 10 120 ・測定 47 10 240	9 断熱・防露改修	断熱材打込み工法の材料 [9.3.2] ・「E」法47型断熱材 断熱材 ・押出法47型断熱材 断熱材 断熱材現場発泡工法の材料 [9.3.3] ・A種1又はA種1Hとし、難燃性を有するものとする。(吹付け厚さ mm)		
	10 型枠	スリブの材料、規格等 図示 [8.2.7]	23 開先形状	※鉄骨工事技術指針による 図示 [8.15.4]	10 屋上緑化改修	工法 [9.4.3] ※「屋根ふき材及び屋外に面する傾壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付 建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を改修標準1.2.2[施工計画]で定める。 かん水装置 設置する(図示による) 設置しない [9.4.3] 既存保護層等の撤去 行う・行わない [9.4.3] 格納及び格納処理 [9.4.4] 期間 ※引渡しの日から1年間 年間 年月 日迄			
	11 鋼材	鋼材の材質 [8.2.8][表8.2.7] 種類の記号 適用箇所 規格等 ・SS400 ※JIS規格による ・SN400B ※JIS規格による	24 スカラップ	※図示による 監督員の指示による [8.15.7]	11 透水性アスファルト舗装改修	既存舗装の撤去 [9.5.2] 舗装撤去箇所 再利用する層			
	12 高力ボルト	高力ボルトの適用 ※トラス形高力ボルト・JIS形高力ボルト・溶融亜鉛めっき高力ボルト	25 溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う [8.15.12]					
	13 モルタル及びグラウト材	柱底均しモルタル ※無収縮モルタル グラウト材 ※無収縮グラウト材 ※プレミックス形 現場調合形 無収縮モルタルの品質及び試験方法 [表8.2.10] ※圧縮強度試験は、公的機関で行う。 ブリーディング 練混ぜ2時間後のブリーディング率: 2.0%以下 無収縮性 材料 7日: 収縮しない 圧縮強度 材料 3日: N/mm ² 以上 材料 28日: N/mm ² 以上 コンクリート 1. J ₁ ポートによる流動時間 8±2秒 ・供試体は、JIS A 1132(コンクリートの強度試験用供試体の作り方)に準じて、直径50mm、高さ100mmの内柱とする。圧縮試験は、JIS A 1108(圧縮強度の試験方法)により行う。 ・図示による。	26 錆止め塗料	※工場1回塗り、工事現場1回塗り ・工場2回塗り 耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う(塗装範囲: 図示) ・行わない 上記以外 ※改修標準8.17.2(1)による 図示 塗料種別 ※A種・B種					

① 公共事業労務費調査への協力 ※協力する

② 工事監理方式 共同監理 ・ 有り ○ 無し

③ 適用基準等 ①高橋工事電子納品要領 (国土交通大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室)
※工事運行マニュアル (新潟県土木部都市局営繕課作成)

④ 総合図 ※作成する

⑤ 工事成績評定 ※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。(様式等は、工事運行マニュアルによる。)

⑥ 工事区分表
注)原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項目	建電空衛昇	備考
躯体関係		
① RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通穴・フ・材及び取付け	○ ○ ○ ○ ○ ○
	補強を要する型枠材及び取付け	○ ○ ○ ○ ○ ○
	補強を要しない型枠材及び取付け	○ ○ ○ ○ ○ ○
	貫通孔・開口部の墨出し	○ ○ ○ ○ ○ ○
	貫通孔・開口部の補強	○ ○ ○ ○ ○ ○
	穴・フ・型枠の穴埋め	○ ○ ○ ○ ○ ○
2. S・SRC造・はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管鋼管穴・フ・補強	○ ○ ○ ○ ○ ○
	使用された穴・フの穴埋め	○ ○ ○ ○ ○ ○
	予備穴・フの穴埋め	○ ○ ○ ○ ○ ○
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○ ○ ○ ○ ○ ○
	室内の基礎(建築設計図に記入のないもの)	○ ○ ○ ○ ○ ○
	屋外・屋上の基礎	○ ○ ○ ○ ○ ○
	屋上基礎で押さえコンにアサリしない軽微なもの	○ ○ ○ ○ ○ ○
	機器取付け用フ・架台	○ ○ ○ ○ ○ ○
	屋内受水タンク用の基礎	○ ○ ○ ○ ○ ○
仕上げ関係		
軽鉄天井・壁下地	補強を要するが・の切り込み及び下地の補強	○ ○ ○ ○ ○ ○
	補強を要しないが・の切り込み	○ ○ ○ ○ ○ ○
	開口部の墨出し	○ ○ ○ ○ ○ ○
電気関係		
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)	○ ○ ○ ○ ○ ○
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○ ○ ○ ○ ○ ○
	機器付属操作スイッチの取付及び差込配管配線	○ ○ ○ ○ ○ ○
その他(工事区分を特に間違えやすい項目)		
天井材	取外し再取付(各種配管配線作業用)	○ △ △ △ △ △
床はつり補修	各種配管配線作業用	○ △ △ △ △ △
流し台、ガス台		○ ○ ○ ○ ○ ○
便所手洗いシンク		○ ○ ○ ○ ○ ○
洗面化粧台		○ ○ ○ ○ ○ ○
ガス漏れ警報器		○ ○ ○ ○ ○ ○
24H換気扇	機器納入	○ ○ ○ ○ ○ ○
運動スイッチ	取付	○ ○ ○ ○ ○ ○
湯沸器	機器納入	○ ○ ○ ○ ○ ○
運動スイッチ	取付	○ ○ ○ ○ ○ ○

7 発生材の処理等 [1.3.12]

1 再生資材の利用
下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2 建設発生土の利用
盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3 建設発生土の搬出
工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

受入工事名/施設名称	工事場所/施設所在地	連絡先	仮置場所の有無	備考

④ 建設廃棄物の搬出
工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

搬出する廃棄物名	再生材 コンクリート塊	再生材 木屑・木屑(6分)	再生材 鉄くず	ガレキ類	石膏ボード・塩化ビニル
処理施設名称	中央建設(株) 中央処理センター	曾根建設(株)	(株) 建設三商店	(株) 建設三商店	エコパークいずもぎ
施設所在地	新潟県胎内市高野249-50	新潟県胎内市高野249-2	新潟県胎内市高野777-2	新潟県胎内市高野777-2	新潟県三島郡川原町大字堀川884
連絡先	TEL 0254-43-5258	TEL 0254-41-4545	TEL 0254-43-3743	TEL 0254-43-3743	TEL 0258-41-7600
備考					

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

⑤ 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

⑥ 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

⑦ 協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

8 化学物質の濃度測定 [1.7.9]

1) 測定時期
測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調設備の稼働による換気が行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。
測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。
※ 測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6)の措置を講じる時間を見込むこと。

2) 測定対象物質
※ホルムアルデヒド (指針値0.08ppm以下)
※トルエン (指針値0.07ppm以下)
※キシレン (指針値0.05ppm以下)
※エチルベンゼン (指針値0.88ppm以下)
※スチレン (指針値0.05ppm以下)
※パラジクロロベンゼン (指針値0.04ppm以下)

3) 測定室
・ 室 (測定箇所 箇所)
・ 室 (測定箇所 箇所)
・ 室 (測定箇所 箇所)

4) 測定方法
測定機器
※パッシブ型採取機器 ・ 監督員の承認する機器
測定要領 (パッシブ型測定法の場合)
※ 測定前の措置
測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉(造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。)を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5分間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。
※ 測定は次のイ〜ハによる。
イ 上記測定前の措置の状態のまま測定する。
ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時〜3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。
ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。
※ その他
上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたまとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたまとする。

5) 測定結果の分析
測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

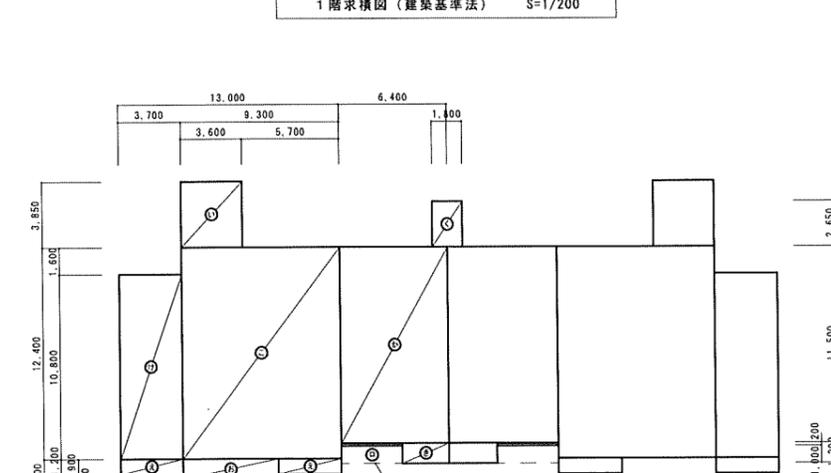
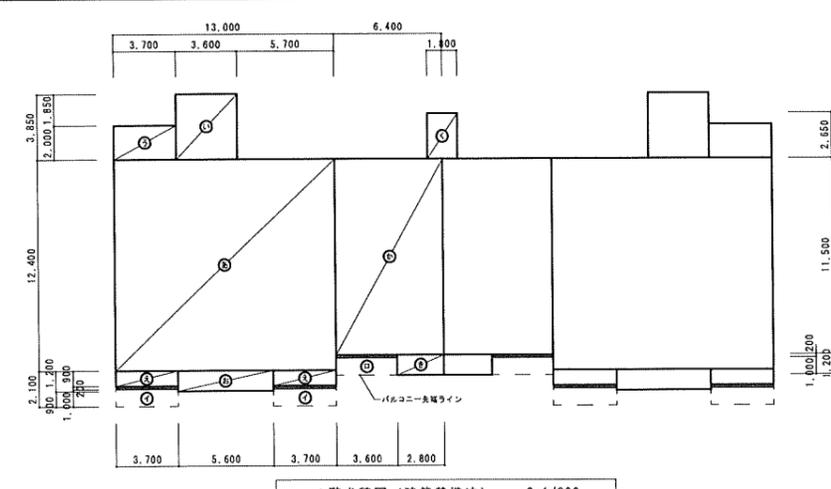
6) 測定結果が指針値を超えた場合の措置
※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4)、5)により、測定を行う。

7) 報告書の提出
※測定結果の報告書を完了検査日までに監督員に提出する。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了までに測定結果速報を監督員に提出する。

9 中間技術検査
低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。

番号に○印を付けたものを適用する。

仕様書(そのVI) Ver.060401 胎内市地域整備課都市計画建築係

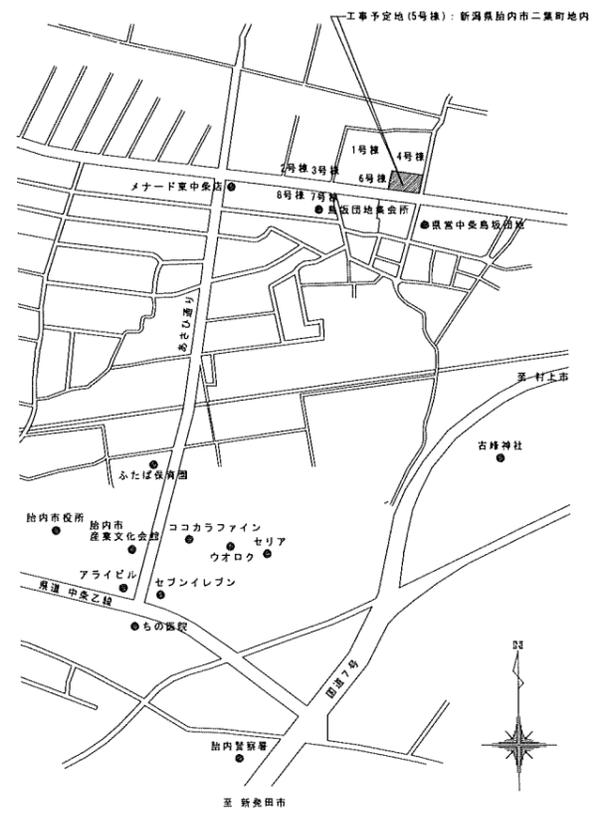
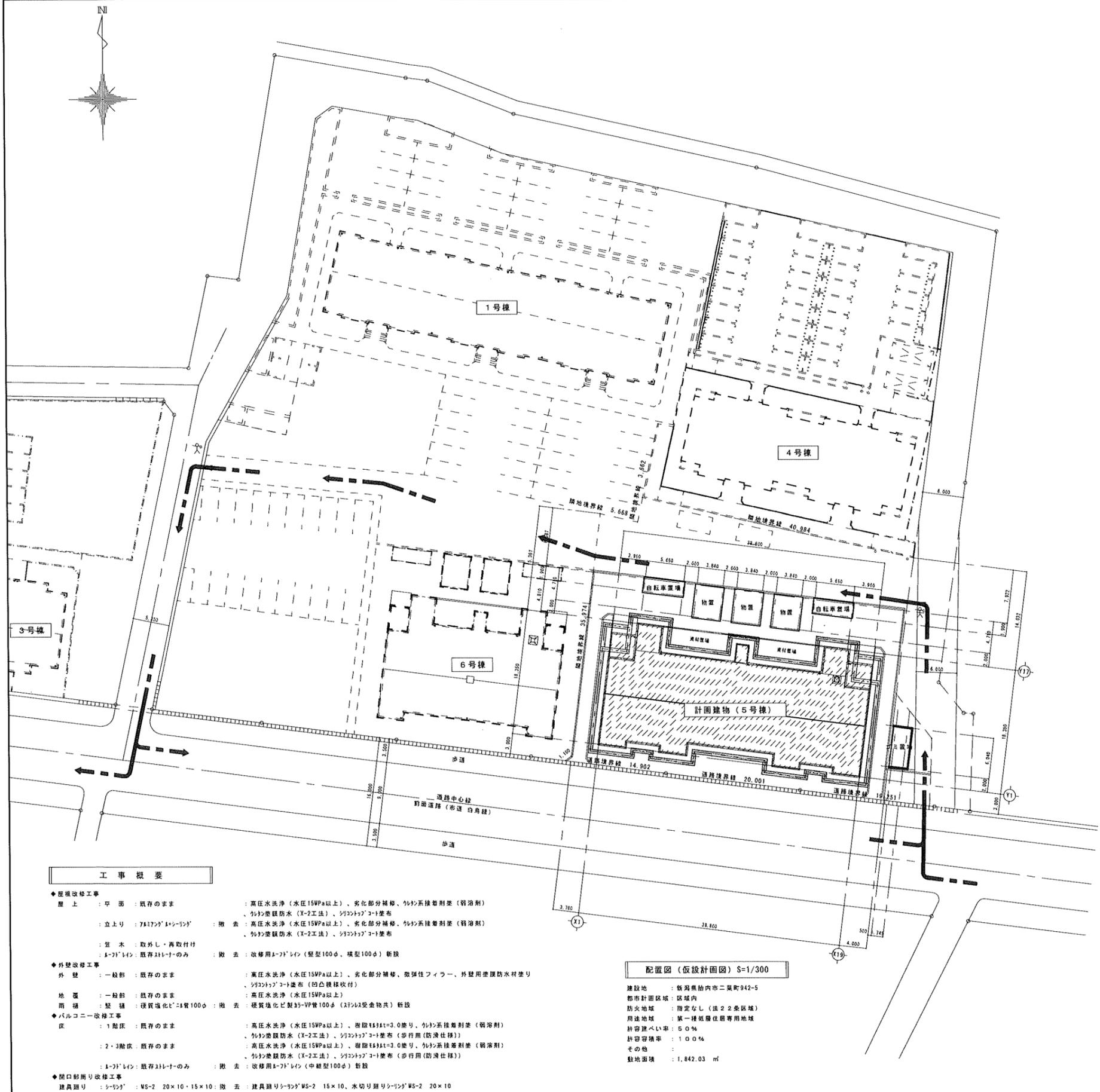


求積表 (建築基準法に依る算定)

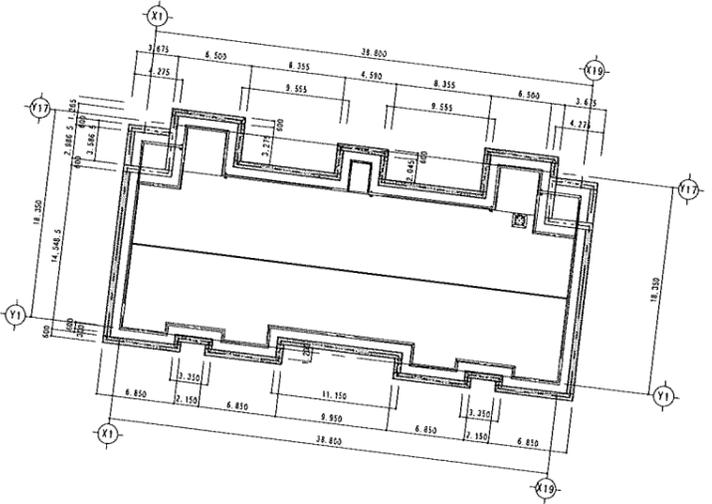
記号	算出	面積
Ⓐ	13.000 × 12.400	161.200
Ⓛ	3.600 × 3.850	13.860
Ⓔ	3.700 × 2.000	7.400
Ⓕ	3.700 × 0.900	3.330
Ⓖ	5.600 × 1.200	6.720
Ⓗ	6.400 × 11.500	73.600
Ⓖ	2.800 × 1.200	3.360
Ⓒ	1.800 × 2.650	4.770
Ⓙ	3.700 × 10.800	39.960
Ⓚ	9.300 × 12.400	115.320
Ⓛ	3.700 × 0.200	0.740
Ⓚ	3.600 × 0.200	0.720

面積表 (建築基準法に依る算定)

階床面積	算出	面積
1階床面積	(Ⓐ) + (Ⓛ) + (Ⓔ) + (Ⓕ) × 2 + (Ⓖ) + (Ⓗ) + (Ⓖ) × 2 + (Ⓒ)	550.370
2階床面積	(Ⓛ) + (Ⓕ) × 2 + (Ⓖ) + (Ⓗ) + (Ⓖ) × 2 + (Ⓒ)	523.730
3階床面積	(Ⓛ) + (Ⓕ) × 2 + (Ⓖ) + (Ⓗ) + (Ⓖ) × 2 + (Ⓒ)	523.730
延べ床面積 (本体)		1597.830 (㎡)
建築面積	1階床面積 + (Ⓒ × 2 + (Ⓚ) × 2)	554.770 (㎡)



付近見取図 S=1/5000



仮設計画図(外部足場他) S=1/300

工事概要

- 屋根改修工事**
 - 屋上：平 面：既存のまま
 - 立上り：7&377'&147-77'&147-77'
 - 笠 木：取外し・再取付
 - 材：A-77'&147-77'：既存A117-77'のみ
- 外壁改修工事**
 - 外 壁：一般部：既存のまま
 - 地 置：一般部：既存のまま
 - 雨 樋：壁 樋：深貫透化ビニール管100φ
 - バルコニー改修工事
 - 床
 - 開口部雨り改修工事

配置図(仮設計画図) S=1/300

建設地：新潟県胎内市二葉町942-5
 都市計画区域：区域外
 防火地域：指定なし(法22条区域)
 用途地域：第一種低層住居専用地域
 許容建ぺい率：50%
 許容容積率：100%
 その他：
 敷地面積：1,842.03 m²

< 凡 例 >

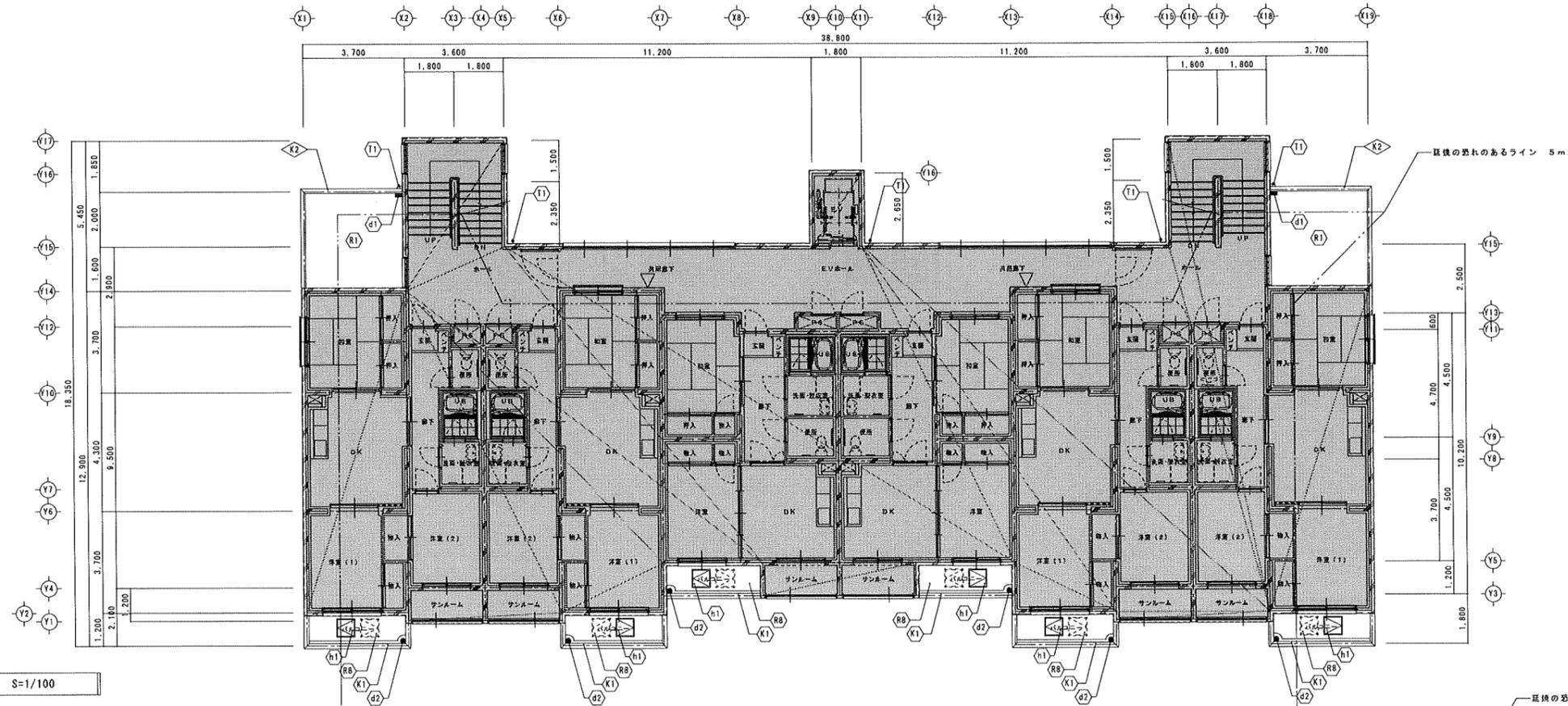
- < ざび緊結式足場(手すり先行方式、W=900、H=9.31m)・メッシュシート張り
- < ざび緊結式足場(手すり先行方式、W=900、H=6.11m)・メッシュシート張り
- < ざび緊結式足場(手すり先行方式、W=900、H=4.2m)・メッシュシート張り
- < ざび緊結式足場(手すり先行方式、W=900、H=10.51m)・メッシュシート張り

外 部 仕 上 表		改 修 工 事										
場 所	部 位	記号	現 況	現 況			下地調整		記号	仕 上		備 考
				既存のまま	取外し再取付	撤 去	既存のまま	取外し再取付		撤 去	仕 上	
屋 根	平 面	R1	コンクリート直均し仕上げ 3層-9層系塗膜防水 密着工法 (X-1工法) 非歩行用	○	—	—	高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)、劣化部分補修、9層系接着剤塗 (弱溶剤)	R1	9層系塗膜防水 (X-2工法) 9層系接着剤塗	環境対応型		
	立上り	R2	合板型枠打放し下地 3層-9層系塗膜防水 密着工法 (X-2工法)	○	—	—	高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)、劣化部分補修、9層系接着剤塗 (弱溶剤)	R2	9層系塗膜防水 (X-2工法) 9層系接着剤塗	環境対応型		
7層-7層基礎	立上り	R3	立上り:合板型枠打放し下地 3層-9層系塗膜防水 密着工法 (X-2工法) アゴ下・天端:合板型枠打放し仕上げ・コンクリート直均し仕上げ	○	—	—	高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)、劣化部分補修、9層系接着剤塗 (弱溶剤)	R3	9層系塗膜防水 (X-2工法) 9層系接着剤塗 TV7層-7層土台防水補修:防水押え7層-7層 L=40×10×1.5、取合1層-1層 (WS-2 10×10)	環境対応型		
	立上り	R4	立上り:合板型枠打放し下地 3層-9層系塗膜防水 密着工法 (X-2工法) アゴ下・天端:合板型枠打放し仕上げ・コンクリート直均し仕上げ	○	—	—	高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)、劣化部分補修、9層系接着剤塗 (弱溶剤)	R4	9層系塗膜防水 (X-2工法) 9層系接着剤塗	環境対応型		
E Vシャフト屋根	平 面	R5	コンクリート直均し仕上げ 3層-9層系塗膜防水 密着工法 (X-2工法)	○	—	—	高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)、劣化部分補修、9層系接着剤塗 (弱溶剤)	R5	9層系塗膜防水 (X-2工法) 9層系接着剤塗	環境対応型		
	立上り	R6	合板型枠打放し下地 3層-9層系塗膜防水 密着工法 (X-2工法)	○	—	—	高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)、劣化部分補修、9層系接着剤塗 (弱溶剤)	R6	9層系塗膜防水 (X-2工法) 9層系接着剤塗	環境対応型		
バルコニー	1階床	R7	コンクリート直均し仕上げ (排水溝 W=100、巾木 H=150共)	○	—	—	高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)、樹脂系接着剤塗 (弱溶剤)	R7	9層系塗膜防水 (X-2工法) 9層系接着剤塗 歩行用 (防凍仕様) 防水層部9層-9層 (WS-2 10×10)	環境対応型		
	2-3階床	R8	コンクリート直均し下地、3層-9層系塗膜防水 密着工法 (X-2工法) 歩行用 (防凍仕様) (排水溝 W=100、巾木 H=150共)	○	—	—	高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)、劣化部分補修、9層系接着剤塗 (弱溶剤)	R8	9層系塗膜防水 (X-2工法) 9層系接着剤塗 歩行用 (防凍仕様) 防水層部9層-9層 (WS-2 10×10)	環境対応型		
柱 木	柱 木	K1	コンクリート直均し下地、防水型複層塗材E (凹凸模様吹付、水系弾性9層-9層)	○	—	—	高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)、劣化部分補修、弾塑性7層-	K1	外壁用塗膜防水材塗、9層系接着剤塗 (凹凸模様) 吹付	JIS A 6021 建築用塗膜防水材		
	隔てた柱	G1	枠:7層-7層系 (壁支持方式)、厚:3層-7層系 18'-1' t=3.0、955×1,800	○	—	—	—	G1	—	—		
避難用ハッチ	避難用ハッチ	H1	SUS製 (9層-9層内蔵型) 600×600 (国家検定合格品)、周囲9層-9層: PS-2、10×10	○	—	○9層-9層	—	H1	避難用ハッチ周囲9層-9層 (WS-2 10×10)	—		
	避難用扉	H2	枠:7層-7層系 (壁支持方式)、厚:3層-7層系 18'-1' t=3.0、900×900	○	—	—	—	H2	—	—		
軒 裏	軒 裏	G1	コンクリート打放し下地、外装塗材E吹付	○	—	—	高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)、劣化部分補修、下地調整剤塗布 (C-1)	G1	外装塗材E (砂型模様) 吹付	JIS A 6909 建築用仕上塗材		
	雨 樋	H1	硬質塩化ビニル管VPφ100、VP塗、支持金物: SUS製	—	—	○支持金物共	—	H1	硬質塩化ビニル管VP φ100φ (支持金物SUS304φ1,000内外共)	—		
E-70レイン	屋 根	G1	鉄板製100型 (壁型、3層-9層)	—	—	○鉄板	—	G1	改修用E-70レイン (壁型100φ、3層-9層100φ)	—		
	バルコニー	G2	鉄板製100型 (中継型)	—	—	○鉄板	—	G2	改修用E-70レイン (中継型100φ)	—		
開口部	金属製扉	—	窓:7層-7層系 (9層-9層)、夏冬70 建具周囲9層-9層: WS-2、10×10、水切り周囲9層-9層: WS-2、10×10	—	—	○9層-9層	—	—	建具周囲9層-9層 (WS-2 10×10)、水切り周囲9層-9層 (WS-2 10×10)	建具・9層-9層: 既存のまま		
	9層-9層柱木	K2	7層-7層系木=200 (既製品)、9層-9層: 9層-9層用品 (3層-9層500)	—	○	—	—	K2	—	—		
9層-9層	外部側立上り	R1	コンクリート打放し下地、防水型複層塗材E (凹凸模様吹付、水系弾性9層-9層)	○	—	—	高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)、劣化部分補修、弾塑性7層-	R1	外壁用塗膜防水材塗、9層系接着剤塗 (凹凸模様) 吹付	JIS A 6021 建築用塗膜防水材		
	内部側立上り	R0	コンクリート直均し下地、3層-9層系塗膜防水 密着工法 (X-2工法) 歩行用 (防凍仕様) コンクリート直均し下地、防水型複層塗材E (凹凸模様吹付、水系弾性9層-9層)	○	—	—	高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)、劣化部分補修、9層系接着剤塗 (弱溶剤) 高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)、劣化部分補修、弾塑性7層-	R0	9層系塗膜防水 (X-2工法) 9層系接着剤塗 外壁用塗膜防水材塗、9層系接着剤塗 (凹凸模様) 吹付	環境対応型 JIS A 6021 建築用塗膜防水材		
外 壁	一般部	R2	コンクリート打放し下地、防水型複層塗材E (凹凸模様吹付、水系弾性9層-9層)	○	—	○設置周囲9層-9層	高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)、劣化部分補修、弾塑性7層-	R2	外壁用塗膜防水材塗、9層系接着剤塗 (凹凸模様) 吹付	JIS A 6021 建築用塗膜防水材		
	打継目地	G1	打継9層-9層: PS-2、10×10	—	—	○9層-9層	—	G1	打継9層-9層 (PS-2 20×15)	—		
地 盤	一般部	R3	コンクリート打放し仕上げ	○	—	—	—	R3	高圧水洗浄 (水圧15MPa以上)	—		
	室内換気口	G1	硬質塩化ビニル管VPφ100184 (7層-7層系9層-9層付き)、周囲9層-9層: PS-2、10×10	—	—	○外側露出部 ○9層-9層	—	G1	硬質塩化ビニル管VPφ100184 (7層-7層系9層-9層付き)、VP塗 (外側露出部) 丸型SUS換気口100φ型 (SUS304付-屋根の恐れのある部分)、周囲9層-9層: WS-2、10×10	SUS製換気口の「屋根の恐れのある部分」は防火設備該当品		
丸型換気口	外部露出部	G2	丸型7層-7層換気口φ150型7層-7層付き (SUS304付)、周囲9層-9層: PS-2、10×10	—	—	○外側露出部 ○9層-9層	—	G2	丸型SUS換気口φ150型7層-7層付き (SUS304付)、周囲9層-9層: WS-2、10×10	SUS製換気口の「屋根の恐れのある部分」は防火設備該当品		
	室内換気口	G3	丸型7層-7層換気口φ100型7層-7層付き (SUS304付)、周囲9層-9層: PS-2、10×10	—	—	○外側露出部 ○9層-9層	—	G3	丸型SUS換気口100φ型 (SUS304付)、周囲9層-9層: WS-2、10×10	SUS製換気口の「屋根の恐れのある部分」は防火設備該当品		
空調機器用 3層-9層	外部露出部	G4	硬質塩化ビニル管VPφ75、周囲9層-9層: PS-2、10×10	—	—	○外側露出部 ○9層-9層	—	G4	硬質塩化ビニル管VPφ759層-9層 (外側露出部)、周囲9層-9層: WS-2、10×10 SUS換気口75φ9層-9層 (屋根の恐れのある部分)、周囲9層-9層: WS-2、10×10	—		
	浴室換気口	G5	硬質塩化ビニル管VPφ50184、VP塗、周囲9層-9層: PS-2、10×10	—	—	○外側露出部 ○9層-9層	—	G5	硬質塩化ビニル管VPφ50184、VP塗 (外側露出部)、周囲9層-9層: WS-2、10×10	—		
9層-9層	外部露出部	G6	硬質塩化ビニル管VPφ50、VP塗、周囲9層-9層: PS-2、10×10	○	—	○9層-9層	—	G6	VP塗、周囲9層-9層: WS-2、10×10	—		
	外部露出部	G7	丸型7層-7層換気口φ100型7層-7層付き (SUS304付)、立上りVP100φ、VP塗	—	—	○9層-9層	(立上りVP管)素地ごしらえR0種	G7	丸型SUS換気口100φ型 (SUS304付)、周囲9層-9層: WS-2、10×10、立上りVP100φ、VP塗	—		
9層-9層	外部露出部	G8	硬質塩化ビニル管VPφ50184 (7層-7層系9層-9層付き)、 周囲9層-9層: PS-2、10×10	—	—	○外側露出部 ○9層-9層	—	G8	硬質塩化ビニル管VPφ50184 (7層-7層系9層-9層付き)、 周囲9層-9層: WS-2、10×10	—		
	防塵 (巾着)	F1	コンクリート打放し下地、EP塗	○	—	—	ビス打ち、金網設置、9層-9層下地	F1	外壁用塗膜防水材塗、9層系接着剤塗 (凹凸模様) 吹付	JIS A 6021 建築用塗膜防水材		
換 気 口	換 気 口	F2	コンクリート打放し下地、EP塗	○	—	—	—	F2	9層-9層レールφ800 t=1.5種文字、7層-7層印刷、9層-9層φ留め	—		
	7層-7層 支持金物	G1	埋込み9層-9層φ113φ (4箇所)、7層-7層化樹脂金物付き	○	—	—	—	G1	—	—		
警 報 機	警 報 機	G	火災報知警報機	○	—	—	—	G	—	—		
	電話保安器	T-1	屋外用電話保安器収納箱 W=1250×H=1750×D=300、フッ素樹脂塗装、 周囲9層-9層: PS-2 15×20	○	—	○9層-9層	素地ごしらえR0種	T-1	SOP塗 (A種)、周囲9層-9層: WS-2 15×20	—		
電 灯	電 灯	LW-1	屋外用電灯・端子盤収納箱 W=550×H=1750×D=300、フッ素樹脂塗装、 周囲9層-9層: PS-2 15×20	○	—	○9層-9層	素地ごしらえR0種	LW-1	SOP塗 (A種)、周囲9層-9層: WS-2 15×20	—		

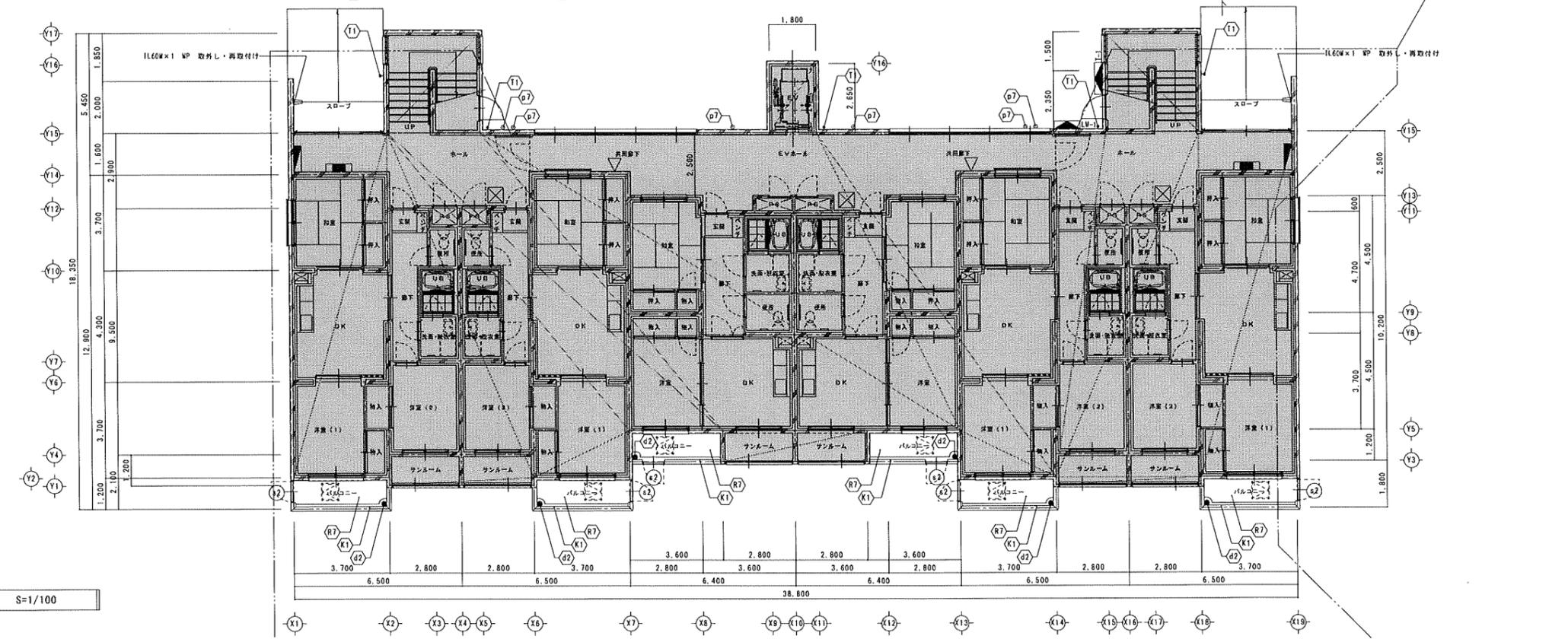
○	改 修
◇	取外し・再取付
○	既存のまま

塗装記号 凡例		記号 凡例		劣化部改修内容		劣化部改修内容		劣化部改修内容	
記号	種別	記号	種別	劣化内容	改修内容・改修方法	劣化内容	改修内容・改修方法	劣化内容	改修内容・改修方法
OP	油性適合ペイント	UV	ウレタン樹脂ワニス	亀裂部 (アスベスト含有部)	下地調整剤塗布	浮き部 (アスベスト含有部)	塗膜剝離処理、アンカーピンニング	鉄筋露出部分	鉄筋露出部分覆り及び、浮き剥離除去、底層剥離後、樹脂系接着剤塗
SOP	合成樹脂適合ペイント	PU	ポリウレタン樹脂ペイント	錆部	下地調整剤塗布	剥離部	剥離部剥離除去、アンカーピンニング	9層-9層剥離部	9層-9層剥離部剥離除去、アンカーピンニング
VP	塩化ビニル樹脂エナメル	FP	フタル酸ペイント	腐食部	下地調整剤塗布	9層-9層剥離部	9層-9層剥離部剥離除去、アンカーピンニング	9層-9層剥離部	9層-9層剥離部剥離除去、アンカーピンニング
OS	油性ステイン	DP	耐熱性塗料	9層-9層剥離部	下地調整剤塗布	9層-9層剥離部	9層-9層剥離部剥離除去、アンカーピンニング	9層-9層剥離部	9層-9層剥離部剥離除去、アンカーピンニング
CL	クリヤーラッカー			9層-9層剥離部	下地調整剤塗布	9層-9層剥離部	9層-9層剥離部剥離除去、アンカーピンニング	9層-9層剥離部	9層-9層剥離部剥離除去、アンカーピンニング
OSCL	油性ステインクリヤーラッカー			9層-9層剥離部	下地調整剤塗布	9層-9層剥離部	9層-9層剥離部剥離除去、アンカーピンニング	9層-9層剥離部	9層-9層剥離部剥離除去、アンカーピンニング
EP	合成樹脂エマルジョンペイント			9層-9層剥離部	下地調整剤塗布	9層-9層剥離部	9層-9層剥離部剥離除去、アンカーピンニング	9層-9層剥離部	9層-9層剥離部剥離除去、アンカーピンニング
EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント			9層-9層剥離部	下地調整剤塗布	9層-9層剥離部	9層-9層剥離部剥離除去、アンカーピンニング	9層-9層剥離部	9層-9層剥離部剥離除去、アンカーピンニング

株式会社さくら設計 新潟県新潟市東区2番4号 電話 (0254) 44-6356 (代表) 1 級建築士事務所 新潟県知事登録 (U) 第1743号 1 級建築士登録番号 第224282号 小社 社印	設計者 1 級建築士登録番号 第224282号 小林 敏 徳	縮 尺 S=1/50 設計年月日 2024.07.05	工事名称 市営住宅5号棟屋上及び外壁改修工事 図面名称 外部仕上表	No. A-08
---	--------------------------------------	--------------------------------------	--	----------

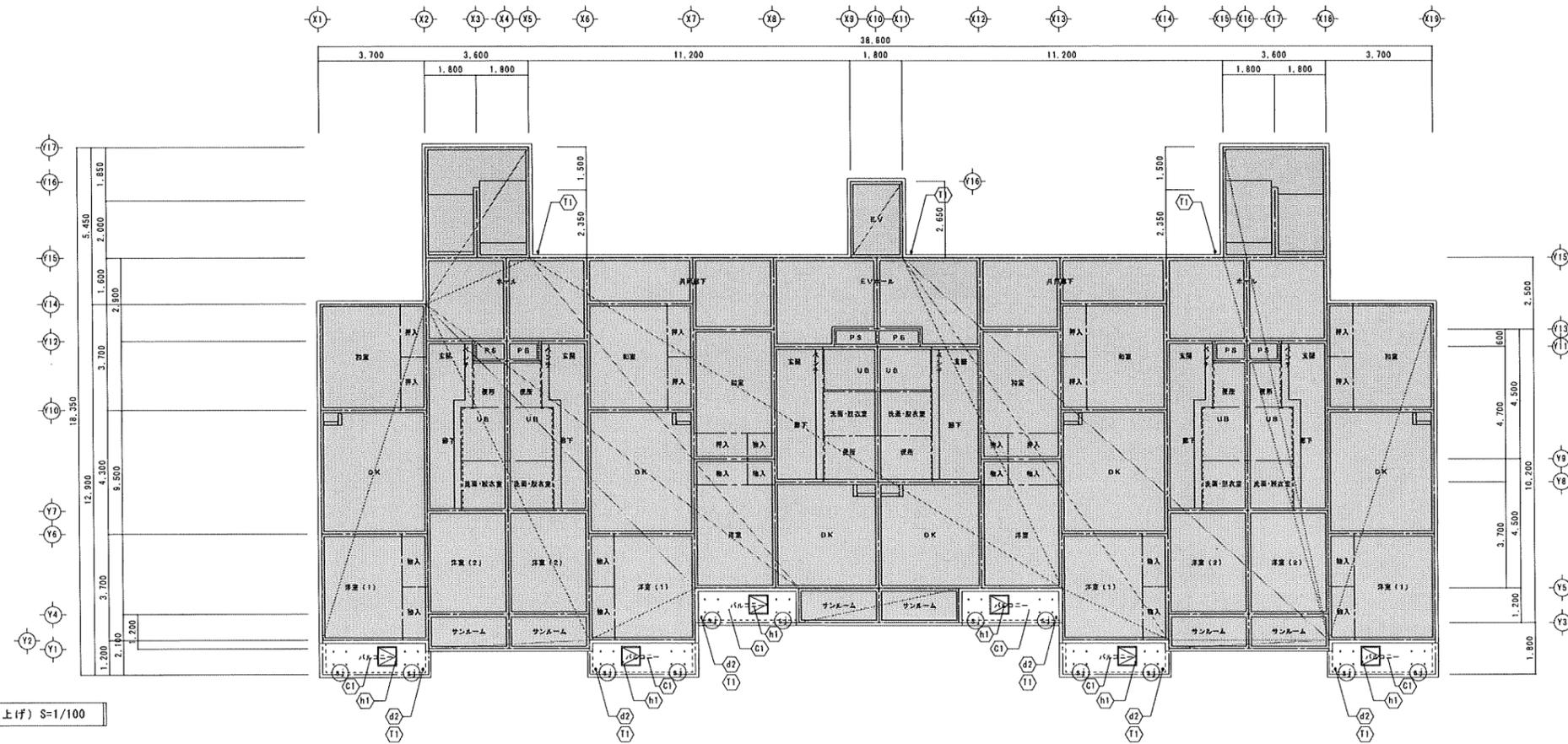


2階平面図 S=1/100

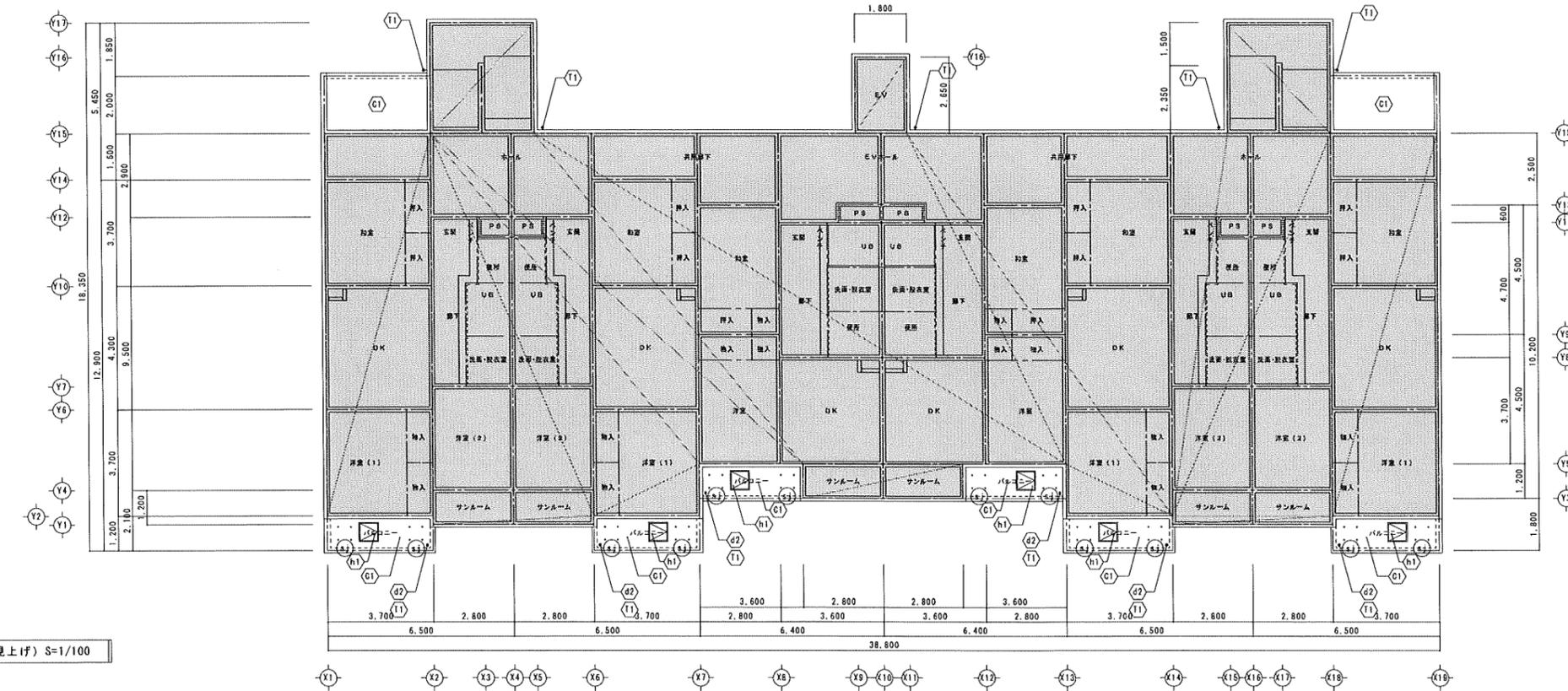


1階平面図 S=1/100

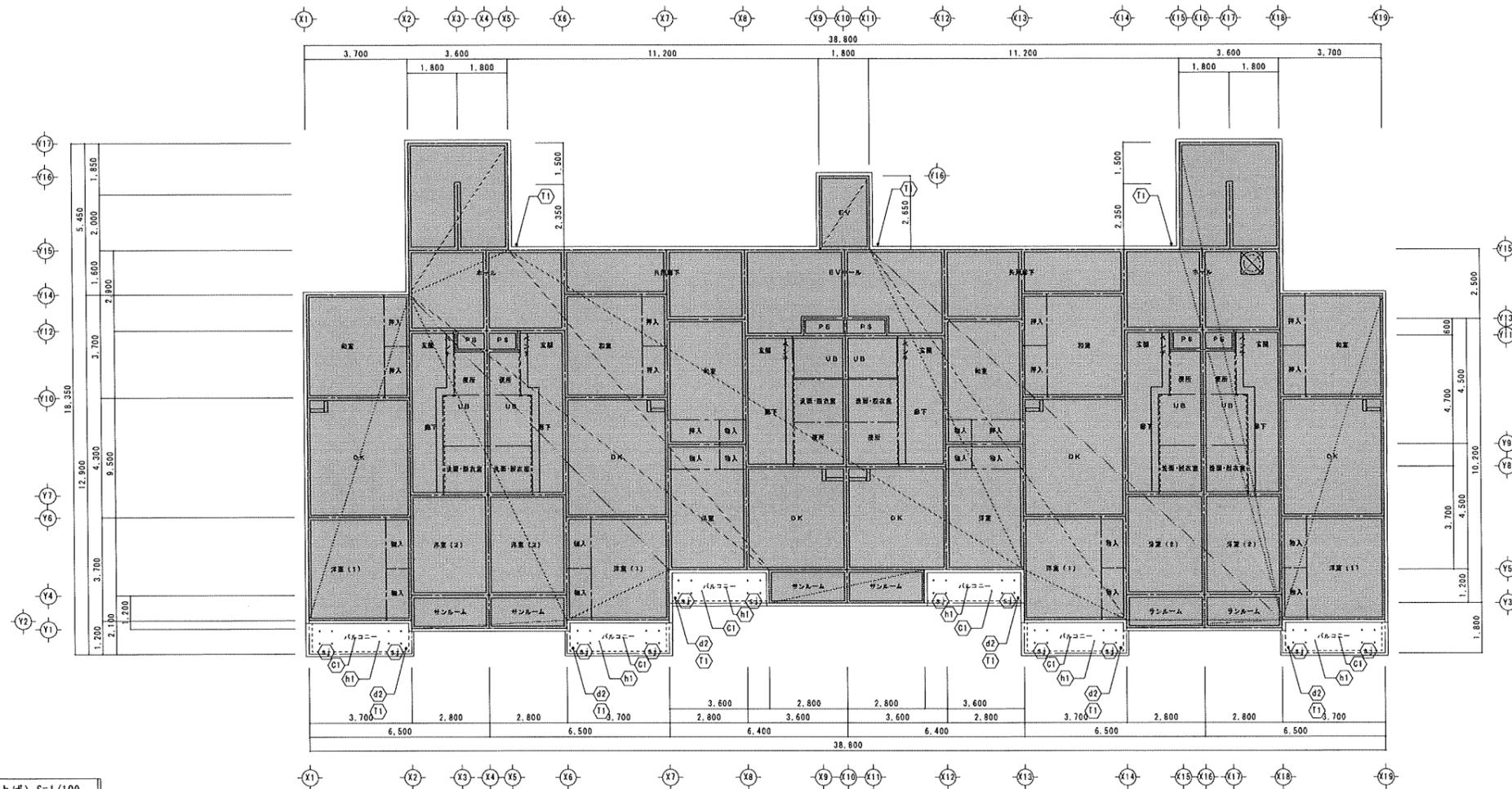
凡例	
	天井ハッチ
	床面ハッチ 600×600
	床下点検口 600×600
	集合扉便受
	ホール運送扉
	消火器設置位置 (消火器別添)
	電気保安器 (電気工事) I-1
	電灯、端子盤 (電気工事) W-1
	照明器具 1160W×1 WP



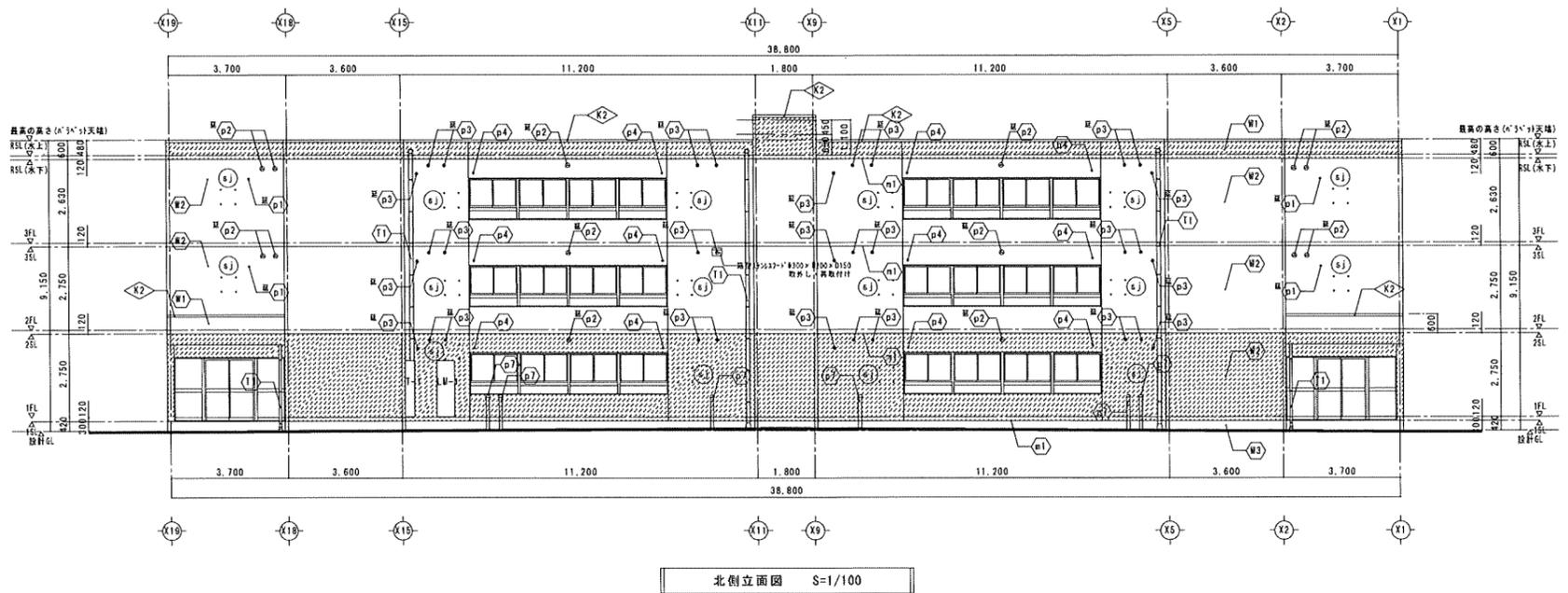
2階天井伏図 (見上げ) S=1/100



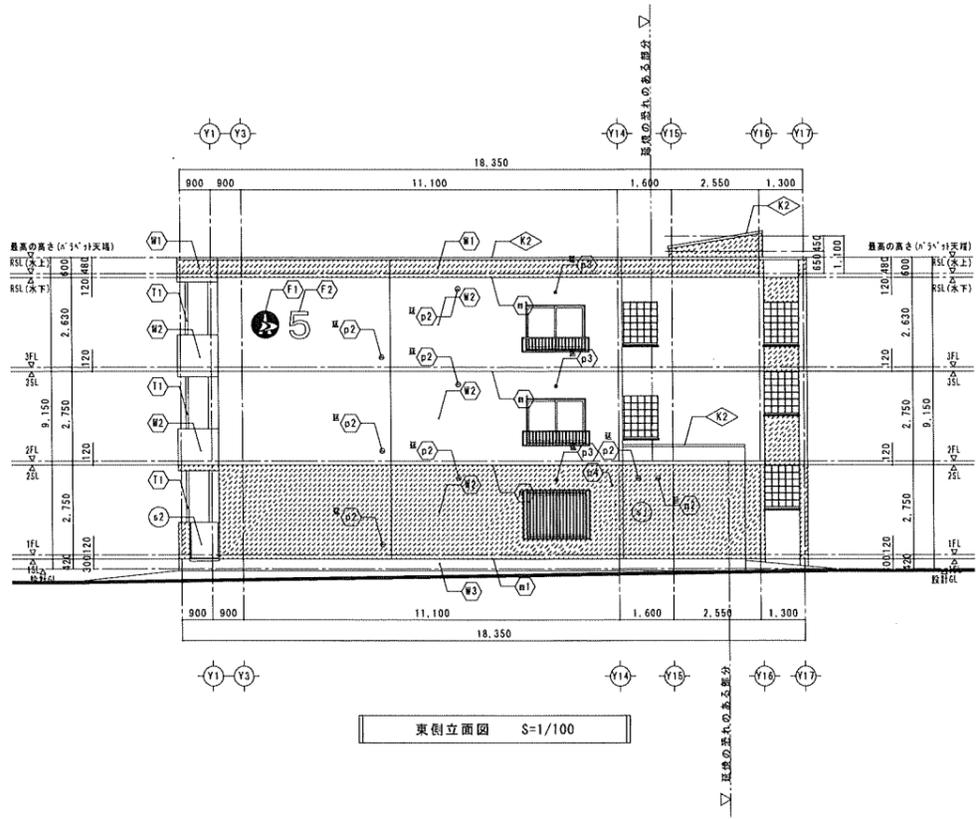
1階天井伏図 (見上げ) S=1/100



3階天井伏図（見上げ）S=1/100

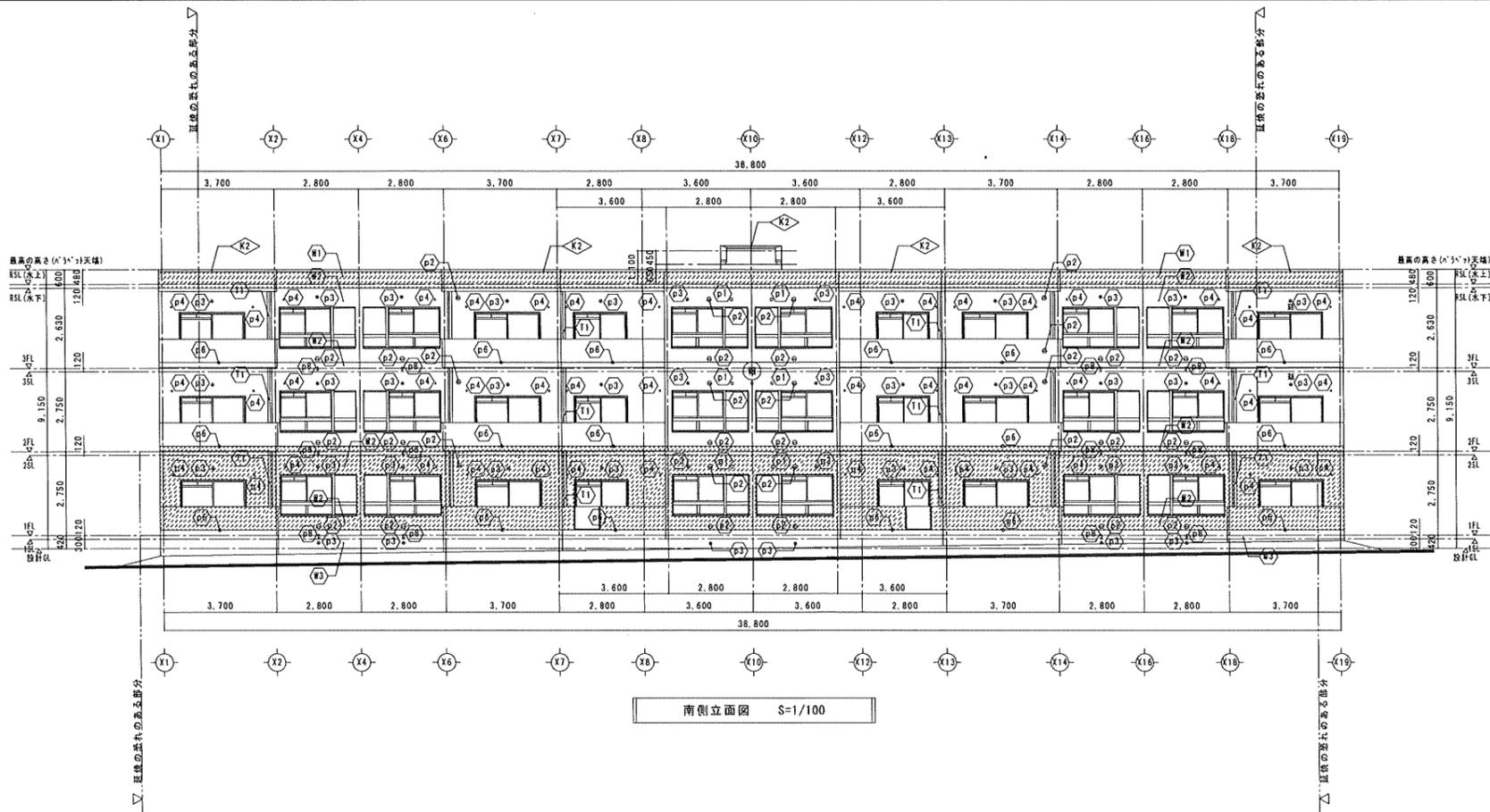


凡例
 ■・・・「延焼の恐れのある部分」に設置（防火設備認定品）



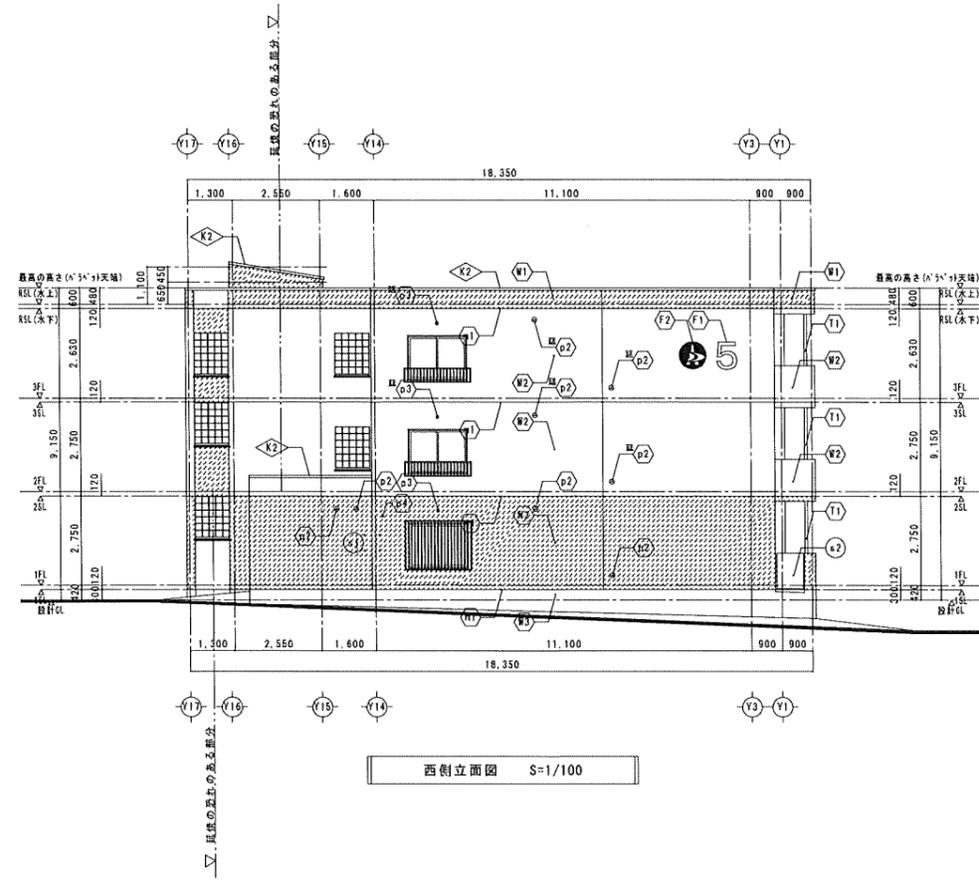
凡例
 ■・・・「延焼の恐れのある部分」に設置（防火設備認定品）

株式会社さくら設計 新潟県助内市新和町2番4号 電話 (0254) 44-6250番 (代表) 1級建築士事務所 新潟県知事登録(シ)第1743号 1級建築士登録番号 第274267号 小林 敏徳	概 括 作 業 者 1級建築士登録番号 第274267号 小 林 敏 徳	縮 尺 A1版 S=1/100 A3版 S=1/200 設計年月日 2024.07.05	工事名称 市営住宅5号棟屋上及び外壁改修工事 図面名称 北側・東側立面図	No. A-13
	株 号			



南側立面図 S=1/100

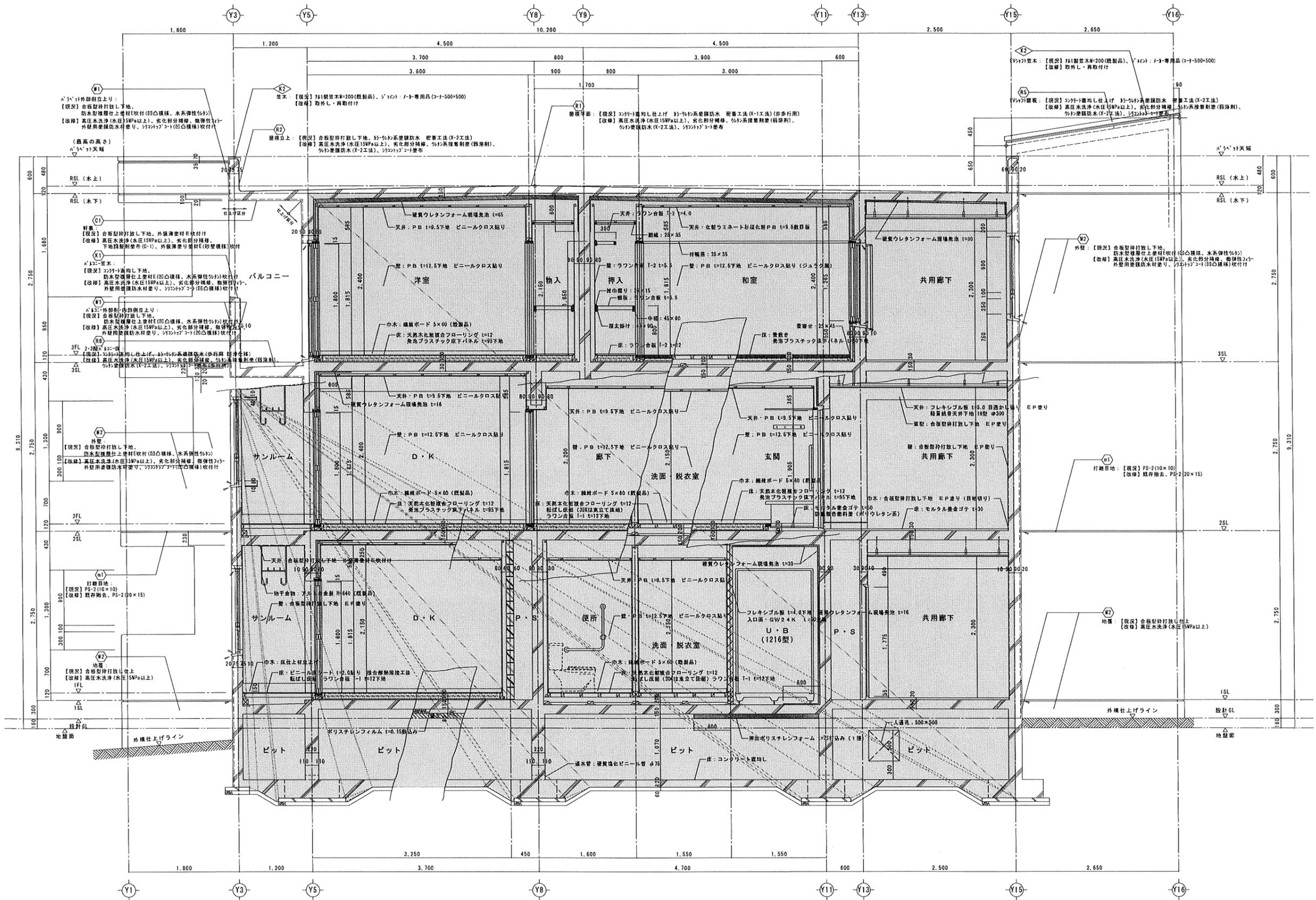
凡例
 ■・・・「延焼の恐れのある部分」に設置（防火設備認定品）



西側立面図 S=1/100

凡例
 ■・・・「延焼の恐れのある部分」に設置（防火設備認定品）

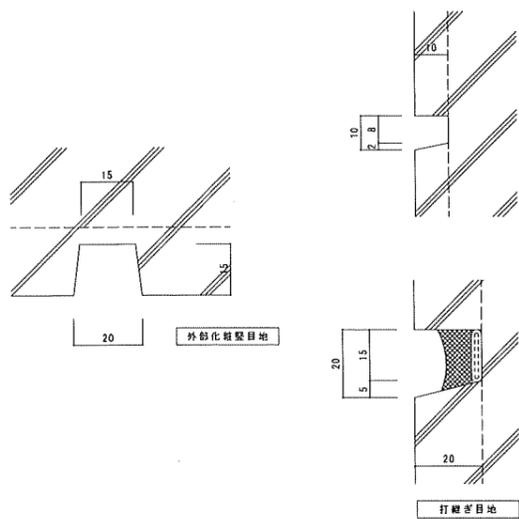
株式会社さくら設計 新潟県妙内市新和町3番4号 電話 (0254) 44-6250 番 (代表) 1級建築士事務所 新潟県知事登録 (ウ) 第1743号 1級建築士登録番号 第224282号 小林 敏徳	作業者 1級建築士登録番号 第224282号 小林 敏徳	縮尺 A1版:S=1/100 A3版:S=1/200 設計年月日 2024.07.05	工事名称 市営住宅5号棟屋上及び外壁改修工事 図面名称 南側・西側立面図
	株式会社さくら設計		



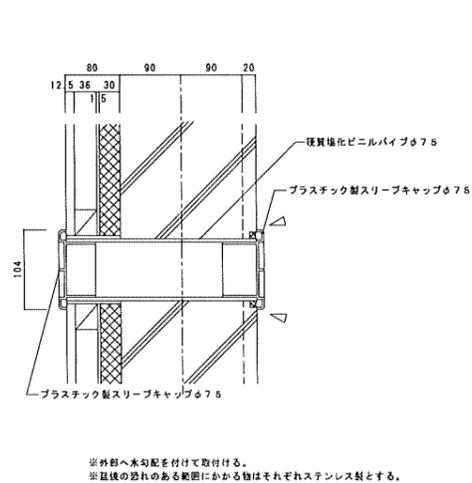
矩計図 S=1/30

株式会社さくら設計 新潟県内市街地3番4号 電話(0254)44-8250(代表) 1級建築士事務所 新潟県知事登録(リ)第1743号 1級建築士登録番号 第224282号 小林 敏徳	作業者 小林 敏徳	縮尺 A1図: S=1/30 A3図: S=1/60 設計年月日 2024.07.05	工事名称 市営住宅5号棟屋上及び外壁改修工事
	図面名称 矩計図	No. A-15	

㊦ 打継ぎ、化粧目地詳細図 S=1:1

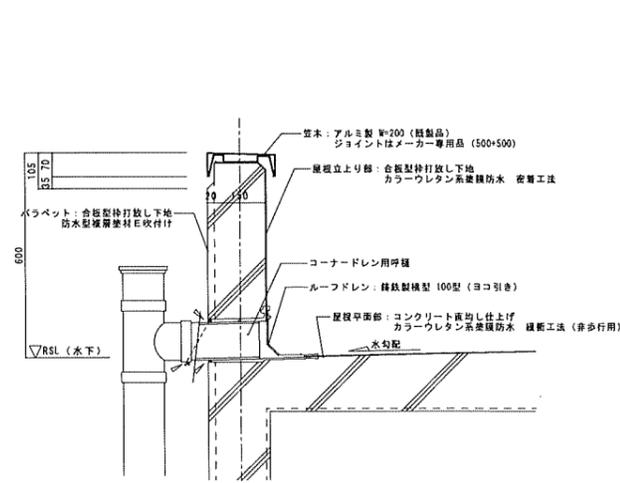


㊧ クーラー・FF用スリーブ S=1:5

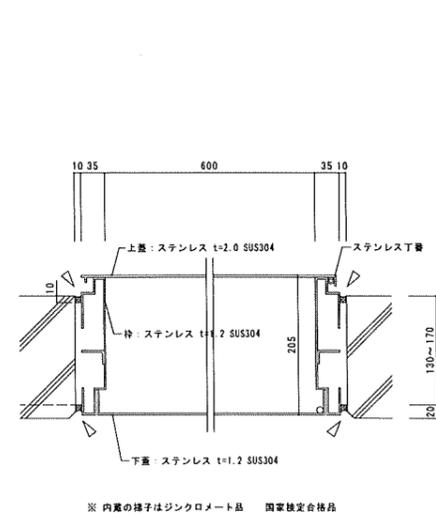


※外部へ水勾配を付けて取付ける。
※基礎の恐れのある範囲にかかるとはそれぞれステンレス製とする。

㊨ パラペット ルーフドレン S=1:10

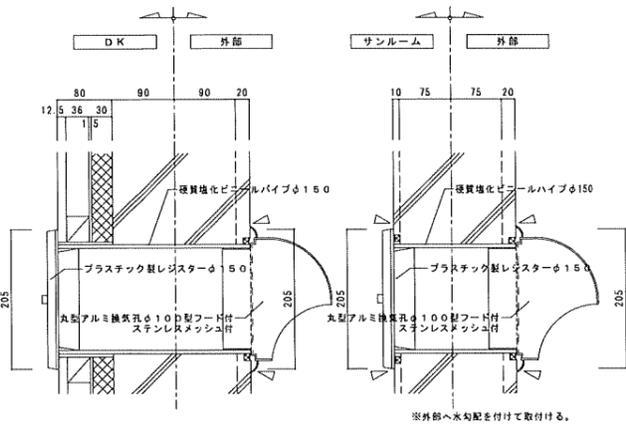


㊩ パルコニー避難ハッチ S=1:5



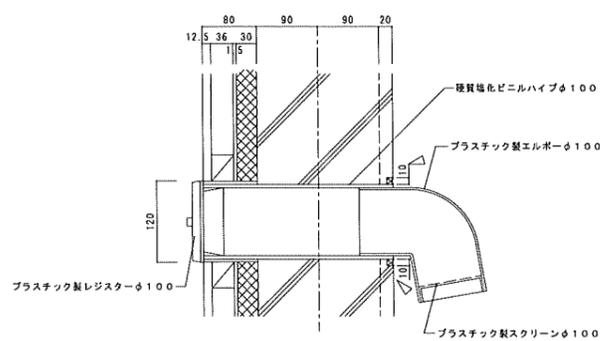
※内蓋の枠はジंकロメート品 国家検定合格品

㊪ 丸型アルミ換気口 φ150 S=1:5



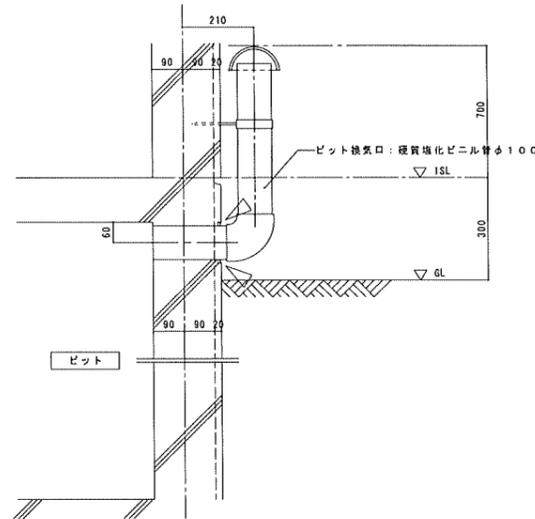
※外部へ水勾配を付けて取付ける。

㊫ 室内換気パイプ S=1:5

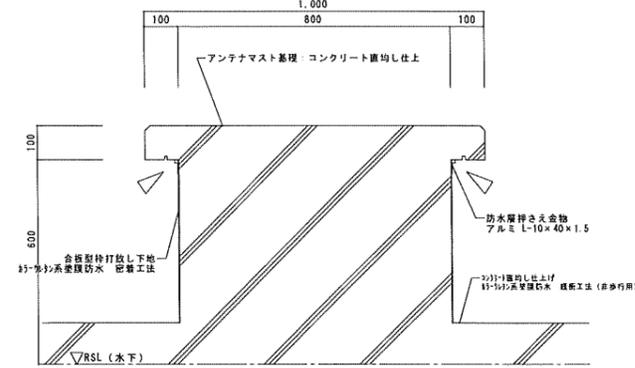


※外部へ水勾配を付けて取付ける。
※基礎の恐れのある範囲にかかるとはそれぞれステンレス製とする。

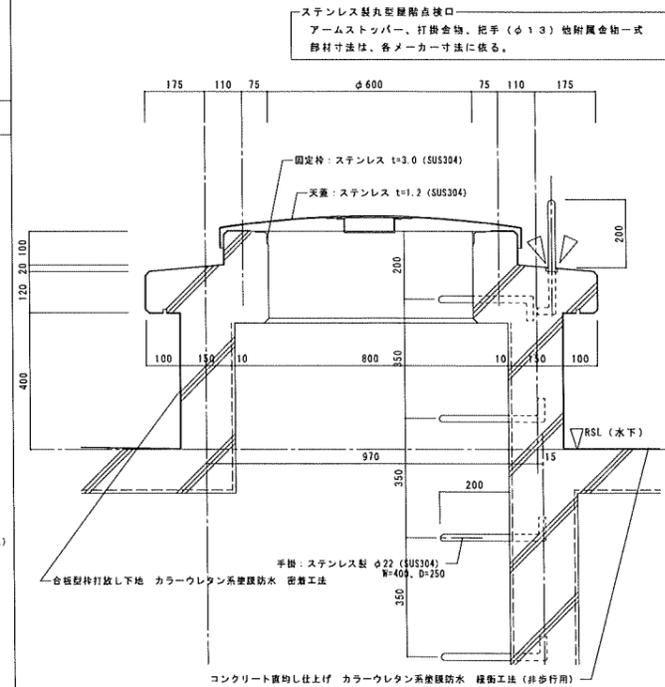
㊬ ピット内丸型換気口 S=1:10



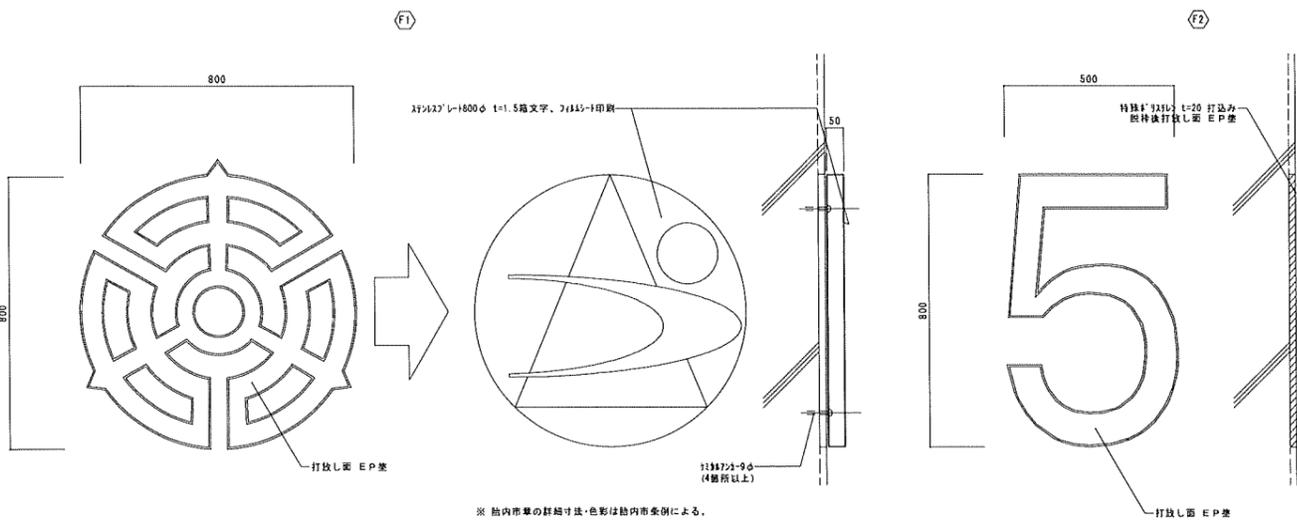
㊭ アンテナmast基礎 S=1:10



㊮ 屋上ハッチ S=1:10

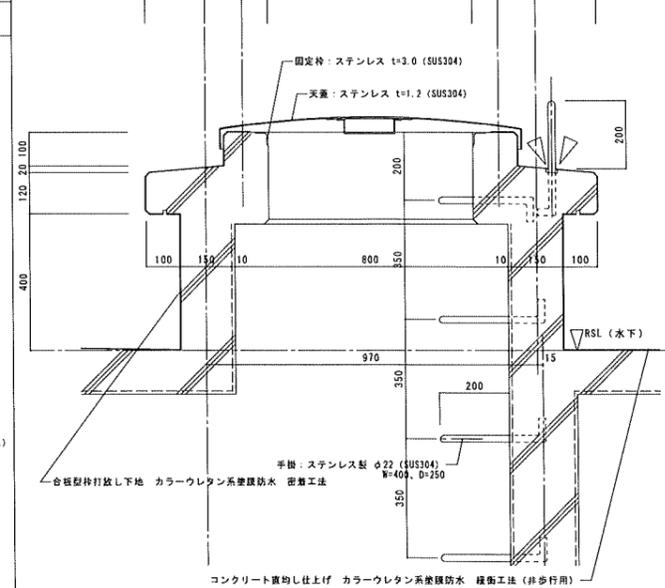
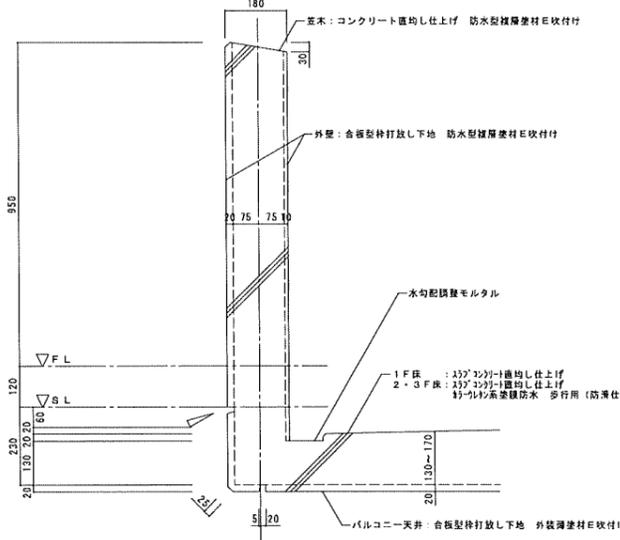


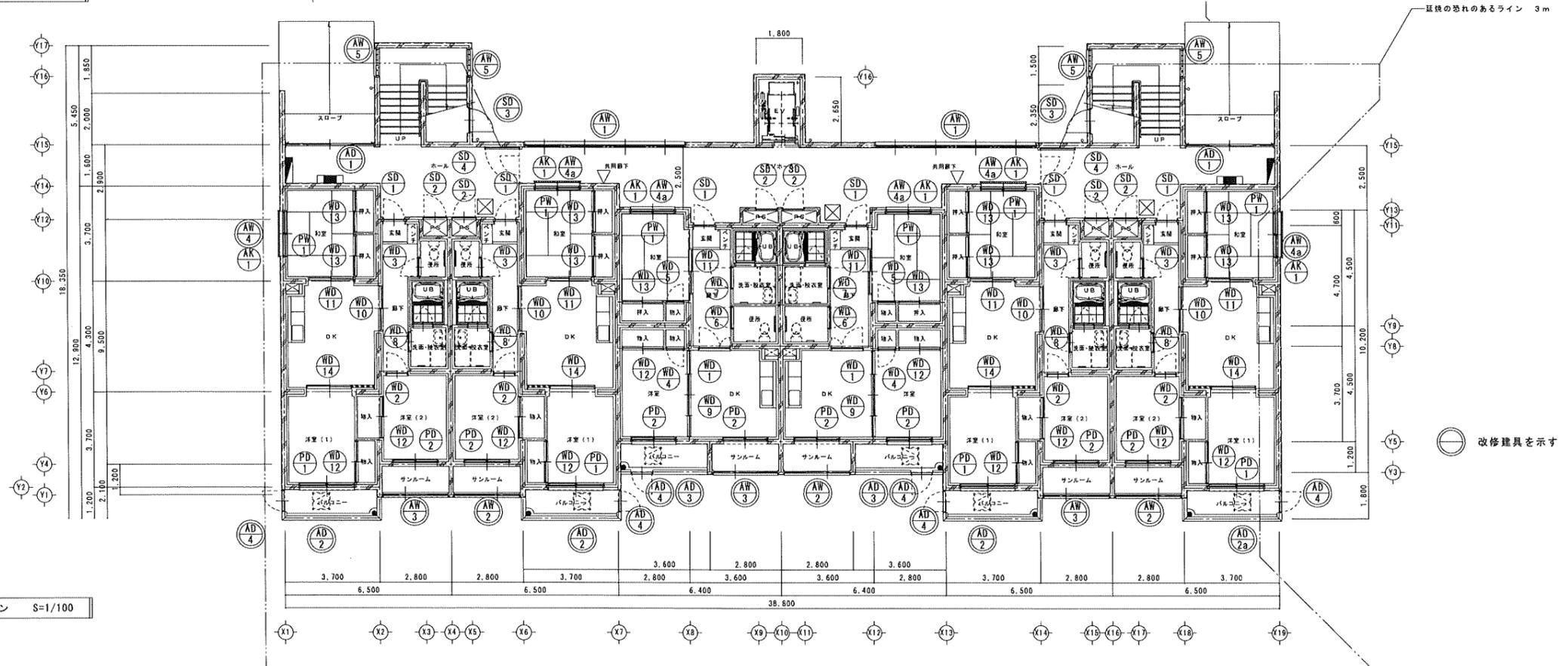
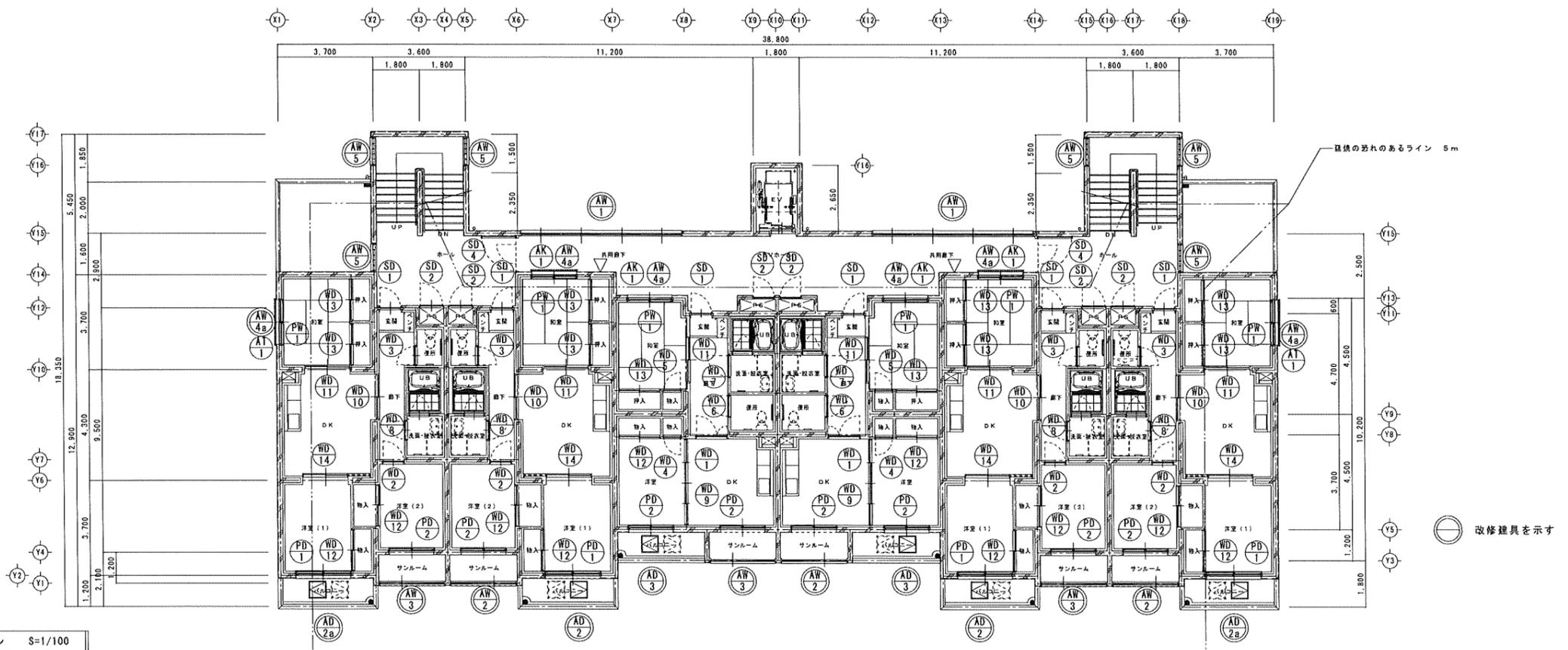
㊯ 市(町)章、棟番号詳細図 S=1:10

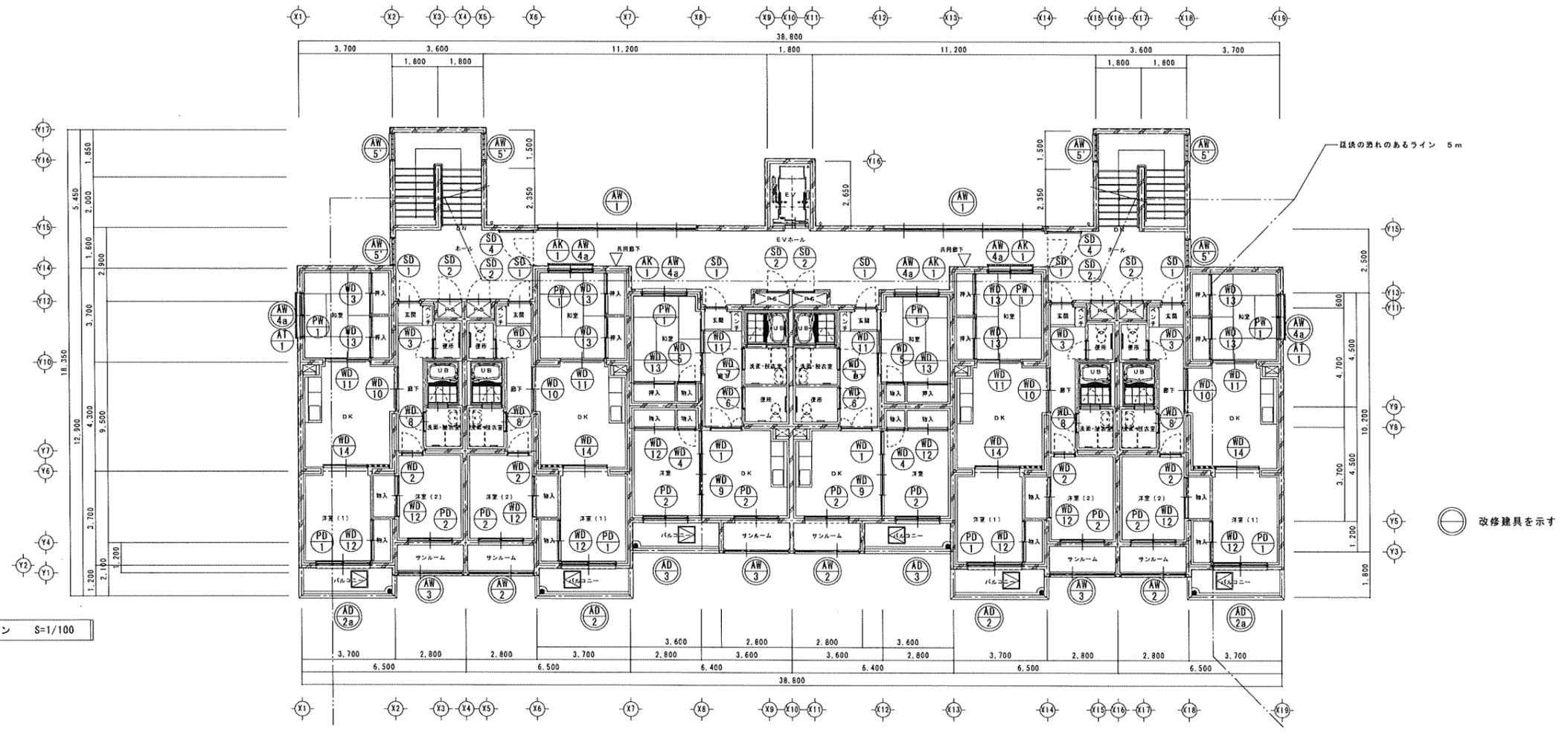


※ 筋内帯章の詳細寸法・色彩は筋内帯条例による。

㊰ パルコニー手摺壁 床 S=1:10







3階建具キープラン S=1/100

記号・数量	AD1 × 2	AD2 × 7	AD2a × 5	AD3 × 6	AD4 × 6	SD3 × 2
図						
改修	建具廻り・建具枠と水切り取合いシーリング: 撤去・新設 W5-2 (10×10) 1ヶ所当たり数量: (3.38×3)+(2.00×2)=14.17m	建具廻り・建具枠と水切り取合いシーリング: 撤去・新設 W5-2 (10×10) 1ヶ所当たり数量: (2.10×3)+(1.80×2)=9.90m	建具廻り・建具枠と水切り取合いシーリング: 撤去・新設 W5-2 (10×10) 1ヶ所当たり数量: (2.10×3)+(1.80×2)=9.90m	建具廻り・建具枠と水切り取合いシーリング: 撤去・新設 W5-2 (10×10) 1ヶ所当たり数量: (1.70×3)+(1.80×2)=8.70m	建具廻り(三方・内外)シーリング: 撤去・新設 W5-2 (10×10) 1ヶ所当たり数量: [(0.80×1)+(0.99×2)]×2=5.56m	建具廻り・建具枠と水切り取合いシーリング: 撤去・新設 F5-2 (10×10) 1ヶ所当たり数量: (0.90×3)+(1.75×2)=6.20m
場所	共用廊下 (1F 玄関)	バルコニー (1・2・3F 3DK)	バルコニー (1・2・3F 3DK)	バルコニー (1・2・3F 2DK)	バルコニー (1F)	廊下 (1F 階段下)
形式	両開き引違い	引違い戸	引違い戸	引違い戸	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸 (気密枠)
見込	1.00	7.0	7.0	7.0	7.0	1.00
材質・仕上	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	ステンレス OP塗
積子	網入防曇ガラス t=6.8	フロート板ガラス t=3.0	網入防曇ガラス t=6.8	フロート板ガラス t=3.0	フロート板ガラス t=3.0	網入防曇ガラス t=6.8
金物	クレセント	クレセント、アルミ2重水切り	クレセント、アルミ2重水切り	クレセント、アルミ2重水切り	クレセント、アルミ2重水切り	クレセント、アルミ2重水切り
備考	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式

記号・数量	AW1 × 6	AW2 × 9	AW3 × 9	AW4 × 1	AW4a × 5
図					
改修	建具廻り・建具枠と水切り取合いシーリング: 撤去・新設 W5-2 (10×10) 1ヶ所当たり数量: (6.19×3)+(1.25×2)=21.07m	建具廻り・建具枠と水切り取合いシーリング: 撤去・新設 W5-2 (10×10) 1ヶ所当たり数量: (2.505×3)+(1.70×2)=10.115m	建具廻り・建具枠と水切り取合いシーリング: 撤去・新設 W5-2 (10×10) 1ヶ所当たり数量: (2.505×3)+(1.70×2)=10.115m	建具廻り・建具枠と水切り取合いシーリング: 撤去・新設 W5-2 (10×10) 1ヶ所当たり数量: (1.25×2)+(1.70×3)=7.60m	建具廻り・建具枠と水切り取合いシーリング: 撤去・新設 W5-2 (10×10) 1ヶ所当たり数量: (1.25×2)+(1.70×3)=7.60m
場所	共用廊下 (1・2・3F)	サンルーム (1・2・3F)	サンルーム (1・2・3F)	和室 (1・2・3F)	和室 (1・2・3F)
形式	引違い窓	はめ殺し窓 換気小窓付引違い窓	はめ殺し窓 換気小窓付引違い窓	引違い窓	引違い窓
見込	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
材質・仕上	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー	アルミシルバー
積子	網入防曇ガラス t=6.8	網入防曇ガラス t=6.8	網入防曇ガラス t=6.8	フロート板ガラス t=3.0	網入防曇ガラス t=6.8
金物	クレセント、アルミ2重水切り	クレセント、アルミ2重水切り	クレセント、アルミ2重水切り	クレセント、アルミ2重水切り	クレセント、アルミ2重水切り
備考	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式

記号・数量	AS × 10	AS × 6
図		
改修	建具廻り・建具枠と2重水切り取合いシーリング: 撤去・新設 W5-2 (10×10) ガラスブロック外用 (内外) シーリング: 撤去・新設 W5-2 (10×10) 1ヶ所当たり数量: [(1.01×4)+(1.21×2)]×2=6.46m, [(1.01×4)+(1.21×2)]×2=6.88m	建具廻り・建具枠と2重水切り取合いシーリング: 撤去・新設 W5-2 (10×10) ガラスブロック外用 (内外) シーリング: 撤去・新設 W5-2 (10×10) 1ヶ所当たり数量: [(1.01×4)+(1.01×2)]×2=6.06m, [(1.01×4)+(1.01×2)]×2=6.06m
場所	ホール・階段室 (1・2F)	ホール・階段室 (3F)
形式	GB	GB
見込	1.00	1.00
材質・仕上	アルミシルバー	アルミシルバー
積子	GB: 180×180×85	GB: 180×180×85
金物	アルミ2重水切り	アルミ2重水切り
備考	附属金物一式	附属金物一式

- 【参考】アルミ製建具共通事項
- 施工図を作成し承認を受けた後製作にかかる。
 - 金具類は全て見本を提出し承認を受ける。
 - アルミサッシ性能 耐風圧 気密性 水密性
 - 目録品 (B型) S-4 A-3 W-4
 - 一般中低層用 S-4 A-3 W-4
 - 断熱サッシ S-4 A-3 W-4
 - ※ 断熱サッシ性能 (kcal/m²h²°C) は3.5<K≤4.0とする。
 - ※ 表面処理はB-1種とする。
 - ガラスの固定は下記の通りとする。
 - はめ殺しサッシはシーリング止め (4×4)
 - 乙種防火戸は防火シーリング止め (4×4)
 - その他はビスガケ止め (建具工事に含む)
 - 網入ガラス切欠小口は防曇処理をする。
 - 建具は二重養生とする。
 - レディメイドはB.L.を基本としオーダーメイドはB.L.断面とする。
 - 水切りは全て打放しとし、特形機はL=130 (近距離) とする。
 - 水切りは全て打放しとする。
 - 正味寸法はメーカーによるが、全体より15~20mm程度とれる寸法とする。
 - 建具は全て外装とする。
 11. クレセント位置は現場指示とする。
 12. 乙種防火戸は防火認定シール貼りとする。
 13. 特記欄は建具はアングルベース一体型とする。
- 金属製建具共通事項
- 施工図を作成し承認を受けた後製作にかかる。
 - 金具類は全て見本を提出し承認を受ける。
 - 建具は二重養生とする。
 - レディメイドはB.L. (A型) を基本とし、オーダーメイドはB.L.断面とする。
 - 建具は全て外装とする。
- 木製建具共通事項
- 現場実測の上製作にかかる。
 - 金具類は全て見本を提出し承認を受ける。
 - 芯材は狂い止め加工し材料は平行材とする。
 - ステンレス金物はSUS304同等とする。
 - 板間の間隙は素地のままにノコギリとする。
 - 板間の引手補強はラワン合板 t=9.0 とする。
 - ガラスの止め方は四方に木製四分一を渡し、ステンレス製平ビス止めとする。
 - 材質は北洋材とする。

改修金属製建具表 S=1/50